

八戸学院大学 学報

八戸学院大学短期大学部

建学の精神
「神を敬し、人を愛する」
八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部は、カトリック精神に則る道徳教育を施し、高潔なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することを建学の精神とする。

教育を通して深まる地域との絆

別科助産専攻が新設されました

令和5年4月に開設した別科助産専攻は、一期生4名が入学し所定のカリキュラムを修了しました。令和6年4月から4人とも市内の総合病院で勤務する予定です。「地域の母子保健に貢献する助産師の育成」を目指した青森県南初の助産師教育機関です。今後ともご支援ご指導を宜しくお願い申し上げます。



青森県三沢高等学校ならびに青森県立八戸西高等学校との高大連携協定に関する締結について

令和6年2月6日（火）八戸学院大学5号館2階会議室において、青森県立三沢高等学校ならびに青森県立八戸西高等学校と高大連携協定を締結しました。八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部にとっては、県立高等学校と初めての連携協定となります。

今回締結された協定は、両高等学校と本学が人的・物的資源の相互活用を推進することにより、それぞれの教育の充実や生徒および学生の資質向上を図ることを目的としています。

今後は、それぞれの教育理念や特色を活かし、多くの生徒・学生が地域で活躍できることが期待されます。



八戸小唄流し踊りに参加しました

7月15日（土）に4年ぶりの開催となりました八戸小唄流し踊りに、幼児保育学科1、2年生および介護福祉学科1年生、教職員、短期大学部後援会の方々が参加しました。雨がばらつく中でしたが、色とりどりの浴衣に身を包んだ学生たちが、今までの練習の成果を披露しました。

最初緊張していた様子でしたが、沿道からたくさん温かい声援をいただき、真剣に、楽しそうに踊る姿が見られました。踊りを無事に終えた学生たちは達成感に満ち溢れた表情をしていました。

来年も、素敵な踊りを披露したいと思います。



はちがくフェス「～笑顔満祭～」が行われました

八戸学院大学・短期大学部学園祭、『はちがくフェス2023』を令和5年10月21日（土）・22日（日）に開催しました。

今年のテーマは、「～笑顔満祭～」とし、コロナが緩和され、マスクを外せるようになったため、学祭の会場が笑顔であふれるようにという願いを込めました。今年は、学生主体の模擬店や、航空自衛隊北部航空音楽隊演奏、そして花火大会等々、盛りだくさんの内容で開催することができ、多くの方々にご来場していただきました。来年のはちがくフェスも、より良いイベントを開催できるよう企画・運営を行っていきたくと考えております。



令和5年度 地域経営学部地域経営学科の活動紹介

① 第3回「高校の探究学習とSDGsシンポジウム」

現在、青森県内の高校では総合的な探究の時間に「あおもり創造学」に取り組んでおり、青森県の地域課題について調査、解決に向けた活動をしている。この活動は、地域経営学科の学びや研究に通じるところがあるため、本学科では高大連携事業に数年取り組んでいる。その一つに「高校の探究学習とSDGsシンポジウム」を令和3年から実施しており、今年度は11月10日に十和田市地域交流センターにて第3回目を開催した。

今回は「高校と地域をつなぐ場」をテーマに、地域と連携した取り組み事例を3校の高校教員から紹介いただき、また地域で高校生と協働で地域振興事業を行っている方や、教育事業を展開している方など3名から発表をいただき、その後は参加者同士でグループディスカッションを行った。高校教員と事例紹介者あわせて15名が参加、事後アンケート結果から企画の満足度は高かった。

シンポジウム後も個別の高校の探究学習に対する支援は継続しており、特に一度関わった高校からは何度か講演や発表会講評の依頼が来るようになった。その都度、地域をテーマにした活動やキャリアについて助言を行い、さらに本学でも横断的な学びや経験が可能であることを伝えるため、今後も高大連携が強化していくと考えられる。

② 第4回「八戸SDGsフォーラム」

地域経営学科は、令和6年3月17日（日）に八戸ポータルミュージアム「はっちひろば」で第4回「八戸SDGsフォーラム」を開催した。今回のフォーラムは、高等学校8校、13グループの参加に上った。各高校のテーマは多岐にわたっている。八戸水産高校「WE ARE SAME OCEAN SUPPORTER ～鮫町の豊かな海を守るために～」、八戸工業高校「リノベーションで取り組むSDGs」、八戸北高等学校「八戸市のこども食堂について」と「オオハンゴンソウの駆除について」、八戸工業大学附属第二高等学校「地域の中で医療的ケア児をどう守るか」と「子ども支援～八戸と世界を比較して」、八戸聖ウルスラ学院高「輝く健康への道 ～幸せな青森県へのアプローチ～（1年生）」と「給食から発電します ～エネルギーの地産地消～（2年生）」、八戸高等学校「開発途上国に食を届ける食堂」と「八戸の外来生物を駆除しよう ～セイヨウタンポポの実験するよ～」、八戸東高等学校「外国人観光客を増やすためには」と「地域に根ざす是川縄文館を目指して」、八戸西高等学校「八西から始まる地域課題解決ソリューション」として、「中心街を活性化するには」と「三社大祭の実態について」であった。そして、前回と同様、八戸学院大学の教員が高校生の発表に講評を行う形態をとった。



地域経営学科としては、地域（地元）が継続的に発展するためにも高校生及び大学生が地域に向けて発信する機会を作り、2024年度も第5回「SDGsフォーラム」を開催していく所存である。

③ 崔桓碩准教授による「高校生のための金融リテラシー講座」

崔桓碩准教授は、2023年6月10日（土）に八戸市美術館2階「まちなカラボ」において「高校生のための金融リテラシー」をテーマとしてオープンゼミを開催した。今回のオープンゼミには八戸北高校の2年生および3年生の15名が参加した。



授業の内容としては、まず人生100年時代と言われている中でこれからのライフスタイルはどのように変わっていくのかについて説明した後、ワークシートを用いて各個人のライフデザインとライフプランを描いて、人生にかかるお金について計算してみる時間を設けた。その後、われわれの家計をめぐる経済環境について様々な統計資料に基づいて説明し、金融広報中央委員会が発行した「大学生のための人生とお金の知恵」というテキストを副教材としてその主な内容を説明した。また、ライフプランを立てる際には計画的な家計管理が大切なのももちろんであるが、その他にリスクへの対応も必要であることについても説明した。たとえば、自分や家族のケガ・病気などの事故に対する急な出費について、貯蓄のみで補うのか、それとも保険などを利用して対策を立てておくのかについて説明した。

授業の途中や最後に我々の生活や金融に関する質問に対して、学生から積極的な答えをいただき、授業への関心や学業への情熱を感じるオープンゼミであった。

④ 堤ゼミナールによる「夏だ！オリジナルうちわを作ろう！」企画

令和5年7月16日（日）にコロナ禍を経て4年ぶりに「第71回八戸七夕まつり2023」（八戸商工会議所・株式会社まちづくり八戸主催、八戸商工会議所中心街委員会主管）が開催され、堤ゼミでは、学生による提案企画として、子どもたちを対象として、ミニサッカーボールを蹴って番号札を落としてもらおうキックターゲットとオリジナルのうちわを作ってもらおうワークショップを提案した。しかし、初日の15日は雨天のため、キックターゲットは中止となり、まつり2日目の16日のオリジナルうちわ作りのワークショップのみの開催となった。

当日は、本当に大勢の地域の方々にご参加いただき、学生たちの嬉しい悲鳴が聞こえた。参加してくれた子どもたちは、それぞれミニうちわに自由なデザインで絵を描いたり、好きなシールを選んで貼り付けてデザインするなどして大いに楽しんでもらうことができた。また、子どもたちがうちわ作りをしている間に、保護者の皆様には「七夕まつり」に関するアンケートにご協力いただき119名もの

方々のご意見ご感想をいただくことができた。

今後の企画の課題も得ることができ、次年度の七夕まつりでの学生企画の参考とさせていただきます。



当日は、大変な混雑によって多くの皆様にご不便をおかけしてしまったこともあったが、学生たちが地域に出て、直接地域の皆さま方と触れ合えたことは大変貴重な機会であり、今後も継続して活動していきたい。

⑤ 横田ゼミナールによるタイ国マヒドン大学とのオンライン交流

国際関係論を専攻する横田ゼミナールでは11月16日、タイのマヒドン大学教養学部で日本語を副専攻とする学生たちとのオンライン交流会を実施した。交流会では学生によるプレゼンテーションとディスカッションが行われ、日本側の学生は日本のポップカルチャーや八戸の魅力について、タイ側の学生はタイの食文化やタイ旅行の際に注意すべき点について、それぞれ発表した。

今回のオンライン交流は、参加した横田ゼミの2年生(6名)にとって、プレゼンテーションに向けた準備のなかで、外国人観光客の八戸への誘致に向けた課題を再認識するとともに、発表の際、災害発生時の在留外国人支援等の観点から近年重視されるようになった「やさしい日本語」の活用に関心されるスキルを向上させる貴重な機会となった。本学の学生は、タイの学生が日本に関する知識を予想以上に持ちあわせていることに驚いた様子であった。この経験をとおして、日本の国際社会における立場や役割の理解促進を図ることもできたと考えられる。

これらの点を踏まえると、オンライン交流は、容易



に実施可能でありながらも、グローバル・コモンセンスの涵養に有効な取り組みであると言える。多文化共生が当然となるこれからの地域社会の発展に貢献できる人材として不可欠な能力の育成に資するものであることから、次年度以降も積極的に実施していく。

⑥ 加来ゼミナールによる「親子で廃棄野菜からクレヨンづくり」

日本では食品ロスを2000年度比で2030年度までに半減(目標値約489万t)することを目標に掲げているが、現在の食品ロス発生量の内訳は事業系と家庭内で約半分ずつを占めている。加来ゼミでは、昨年度行った八戸市内の農家、流通業者らの食品ロス対策の実態調査に続き、本年度は家庭内から出る食品ロスについて焦点を当てて活動し、市内全体で食品ロスを減らす方法について研究等をしている。

本年度は、家庭内での削減方法を検討するため、スウェーデンで実践される幼少期からの環境教育を参考に、親子で廃棄野菜からクレヨンを作ることを発案した。そこで、普及活動を行うため、「令和5年度八戸市学生まちづくり事業」を活用させていただき「はちがくフェス」においてイベントを開催した。



ゼミ生には、廃棄野菜の確保や野菜クレヨンの試作、イベント企画・運営などを主体的に行えるよう、役割分担と全体スケジュールとタスクの生成と管理を話合ってもらい、報告・連絡・相談を徹底しながら、チームで働く術を学んでもらった。

実際には野菜クレヨンの試作は難航を極め、完成までの予定が大幅に遅れてしまったが、それでも最後までやり抜き、11色の作成法を考案し、イベントや学生まちづくりコンペの報告を終えることができた。反省点も多々あったが、それが学びとなり、更なる成長へと繋がったことは、ゼミ生にとって大きな収穫となった。

令和5年度 健康医療学部人間健康学科の活動紹介

人間健康学科では、学科会議・カレッジアドバイザー会議を通じて、課題を抱える学生に対して情報共有しながら必要な教育支援を行った。また本学で実施している八戸学院健康マイスターには9名が認定されている。

教員免許状の取得は、高等学校一種免許状(保健体育)23名、中学校一種免許状(保健体育)17名、養護教諭一種免許状16名が取得している。また公立学校教員採用試験には、保健体育1名(岩手県)、養護教諭2名(北海道と宮城県)が現役合格した。JATI認定トレーニング指導者試験は2名が合格し、JSPOコーチングアシスタントは3名が申請した。

認定心理士の資格申請は21名が行なった。社会福祉士国家試験は、13名が受験し6名(合格率46.2%)が合格した。

食生活アドバイザーの試験合格では7名が合格した。

地域をキャンパスとした健康調査等の地域活動では、南部町と連携して「転倒・寝たきり予防教室における健康調査」を実施した。また、大学祭においては来場者に「地域住民を対象とした健康調査」を実施し、教員、学生スタッフで、身長、体組成、骨密度、血圧、握力、貧血検査を行った。今年度の地域医療セミナーでは、公益財団法人シルバリーハビリテーション協会理事長長田中由紀子先生を講師に講演を行った。健康医療学部公開講座は看護学科と共催し、「健康な生活への第一歩」をテーマにポータルミュージアムはっちで開催し、人間健康学科では、体育科学分野と社会福祉学分野の講義を実施した。

以下に、「心理学実験」と、社会福祉プログラムの「ソー

「ソーシャルワーク演習」について紹介する。

(人間健康学科学科長 吉田 守実)

認定心理士取得に向けての「心理学基礎実験」、「心理学実習」

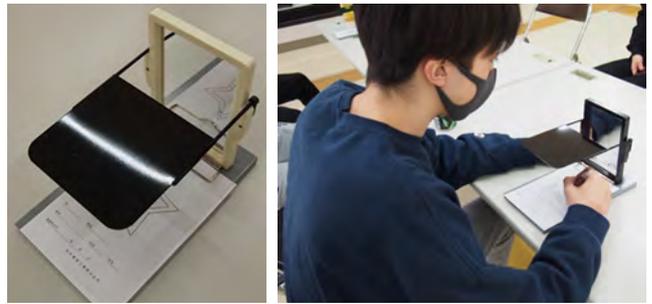
人間健康学科では、毎年約20名の学生が「認定心理士」資格を取得して卒業している。「認定心理士」とは公益社団法人日本心理学会が認定している民間資格であり、心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的な基礎学力と技能を修得していることを保証する資格である。本年の卒業生では21名の学生が認定心理士を取得した。

この認定心理士を取得するための必修科目として、3年次に「心理学基礎実験」と「心理学実習」という2つの学内実習科目を開設している。「心理学基礎実験」では、心理学の研究手法である実験の技法を習得するために、心理学の研究テーマである感覚・知覚、思考、記憶、行動学習、感性に関わる8種類の基礎的な実験を行う実習となっている。今年度は「ストロープ効果」、「要求水準」、「触2点弁別閾」、「ミューラー・リヤアの錯視」、「回転盤追跡学習」、「記憶の再生」、「心理尺度」、「鏡映描写」の実験を実施した。それぞれの実験において受講生は「実験者(実験を実施する人)」、「参加者(実験を受ける人)」の2つの立場で実験に参加し、加えて実験結果を分析してレポートを作成した。一方、「心理学実習」は、実験以外の心理学の研究技法、あるいは現場の診断技法を習得するために行われる実習である。今年度は「質問紙(アンケート)調査の作成と結果の分析」、「面接(インタビュー)調査」、「行動観察調査」、「ポリグラフ検査(ウソ発見)」といった研究技法の実習に加え、「3種類の心理検査(質問紙法、作業検査法、投影法)」および「知能検査」といった臨床現場で使われている検査の診断技法を身につける実習も実施した。受講生は、「心理学基礎実験」と同じく、各実習メニューの終了後に実習概要や分析(検査)結果をまとめてレポートを作成した。

この「心理学基礎実験」および「心理学実習」を受講することにより、基礎的なレベルではあるものの、学生は心理学の様々な研究・診断技法を体験することができ、また簡単な報告書を作成する能力も身につけることができる。座学で習得する心理学の知識とは異なる、心理学の研究や実践能力をより効果的に身につけさせるために、来年度以降も実習内容に工夫を重ねていきたい。

(人間健康学科心理学分野担当 金地美知彦)

写真は、鏡映描写実験の実験機器と実験風景である。鏡で見た自分の手を見て鉛筆で星形の図形をなぞる作業を行う実験であり、非利き手で1回作業を行い、その後利き手で複数回練習をした後に、再度非利き手で作業を行うと、非利き手では一切練習は行っていなかったものの、作業時間にかなりの短縮が見られる。



「地域生活支援センター・カシオペア」との連携によるソーシャルワーク演習

社会福祉士プログラムでは例年、国家試験の受験資格取得要件の科目である「ソーシャルワーク演習」において、相談支援の実践者に来校を依頼して実際の支援ケースの事例検討を実施している。今年度も、令和5年11月15日に本学8号館教室において、ソーシャルワーク実習を終えた4年生と、来年度に実習に臨む3年生合同で、実際のケースに対するアセスメント(クライアントの情報を収集し、分析すること)の演習を実施した。

事例検討を依頼した二戸市にある「地域生活支援センター・カシオペア」からは、7名の支援者が来校し、実際に支援している障害のある利用者の2つのケースが提供された。履修生たちは、アセスメントを深めるためにケースの当事者について、心身、経済、就労などさまざまな視点から質問をした。また、それぞれのケースの問題解決のために、どのような支援が実践できるか考察し、各自の意見について発表した。履修生たちは、積極的に質問し、考察することを通して、事例について新たな気づきを得たり、ソーシャルワークの実際について理解を深めてたりしている様子が見られた。

こうした演習における学びのプロセスは、社会福祉士をめざす学生が、ソーシャルワーカーとしてアセスメントから支援計画を立てる力を養うソーシャルワーク演習の目的に沿ったものである。4年生にとっては、実習で学んだことを演習において追体験することで多面的にふりかえることができ、3年生にとっては、講義で学んだ知識と次年度の実習における学びをつなぐ機会となった。

(人間健康学科社会福祉士実習担当 大木えりか)



令和5年度 健康医療学部看護学科の活動紹介

入学者の激減でスタートした令和5年度は、これまで通り在学生の教育を充実させることと、入学者の増加を目指した募集活動に教員が一丸となって尽力した一年であった。主な活動の一部を担当責任者から以下に報告する。

(看護学科長 高橋 雪子)

第7回宣誓式および特別記念講演

「宣誓式」は自らが目指す看護師像を宣誓する式として、本学では専門的な学習が本格的に始まる2年生を対象に、近代看護の創始者であるフローレンス・ナイチンゲールの生誕の日5月12日にちなみこの時期に開催している。

令和5年5月13日(土)、第7回宣誓式が4年ぶりに保

護者参加もあり開催された。68名の学生がそれぞれの思いを胸に灯火し、「豊かな感性を持ちすべての人々の尊厳・権利を尊重すること」「看護師としての責任の重さを自覚し、安全で質の高い看護を提供するために学び続けること」「幅広い教養を持ち視野を広げ社会の人々の信頼を高めるように努めること」「社会の危機に負けず多職種と連携し人々の命、健康、生活を守ること」「支えてくれるすべての人々に感謝し笑顔を決やさず看護の道を歩んでいくこと」を宣誓した。

宣誓式後の学生からは、「看護師を目指すという気持ちが高まった（強くなった）」「宣誓の詞をしっかりとることができた。この詞を忘れずに勉強や看護を頑張りたい」「絶対看護師になろうと思った」などの前向きで決意が伝わる感想が聞かれた。

特別記念講演は、元看護師、作家、エンゼルメイク研究会代表などをつとめている、小林光恵先生より「私が考える看護職の魅力」をテーマにご講演いただいた。小林先生自身が実習で出会った初めての患者さんとのエピソードから、患者さんとのコミュニケーションの重要性や人と人との心のふれあい、看護した経験は看護者の人生を支えるなどの貴重なお話を聞くことができた。

オンライン映像ならびにマイクなどのトラブルもあったが、心に残った大変良い宣誓式ならびに特別記念講演であった。

(令和5年度宣誓式実行委員長 市川裕美子)



看護学科就職内定状況と就職支援活動報告

令和5年度八戸学院大学健康医療学部看護学科では、62名の学生が卒業を迎えた。県内就職者は27名であり、他に出身地である地元に戻る学生や東北地方や関東圏に就職する学生がおり、就職内定率は100%を維持している。また、今年度卒業生の中には保健師課程に7名が在籍しており、うち2名は保健師採用での就職である。

就職支援活動としては、就職試験が早まっていることから、3年生の春学期からキャリア支援講座として「スタートアップ講座」「病院選定」「卒業生講話」「マナー講座」「マスター講座」の5講座を順次、実施している。3年生でのインターンシップ参加を勧め、早めに内定を得ることで、余裕をもって看護師国家試験に望めるように指導をしている。

(看護学科就職支援委員会 坂本 弘子)

看護学科国家試験対策について

国家試験対策委員会では、看護師国家試験対策を自律して行うことができることを目標と掲げ、3年生では看護師国家試験過去問題集を用いて学習をすすめることで、積み重ねを行い看護師国家試験の自覚を高める。4年生では、自主的に計画を立てて学習し理解することで自信をもって国家試験に臨むことができるとしている。具体的には、国試対策の状況やGPAより、早期からの支援が必要な学生を抽出し、学習の進捗状況や学習方法について個別支援を行っている。また、確認テスト・全国模試・領域補講・外部講師による対面講義などを実施し学生支援している。しかし、国家試験問題は看護判断能力や看護実践能力を問われる問題が増えており、全員の合格は難しい状況である。やはり、1年次からの学習の積み重ねが重要であることを痛感している。

第113回看護師国家試験受験者61名 合格率(91.8%)

第110回保健師課程受験者7名 合格率(100%)

(看護学科国家試験対策委員長 坂本 保子)

令和5年度「社会人からのキャリアチェンジ相談会」の開催

令和5年12月9日(土)健康医療学部看護学科の第1回「社会人からのキャリアチェンジ相談会」が開催された。

昨今、産業構造の急激な変化や少子高齢化に伴う定年引き上げなどの社会的背景のもと、一生を通じて働くことができる看護職に興味を持つ社会人が増加している。そのような社会人を対象に相談会を実施した。

相談会には2名の社会人が参加し、看護職の仕事内容や資格取得までの教育課程などについての具体的な相談があり、相談者の状況を踏まえた上で、大学で学ぶ意義と方向性についての提案を行った。その結果、相談会に参加した方が本学の選抜試験を受験したとの情報を得た。

今回の相談会は初の試みであったが、地域社会への貢献と看護学科の広報活動に寄与したと考える。次年度も引き続き開催予定である。

(令和5年度看護学科広報委員会 健康医療学部看護学科 木村 緑)

保健師養成課程について

保健師は、乳児から高齢者まで、元気な方から病気の方、また様々な事情を抱えつつ生活している人をも対象にしていますので、幅広い知識が求められます。昨今では、生活習慣病、感染症、虐待問題・生活困窮者をはじめとする深刻で複雑な健康課題に対して、予防から支援まで様々な方法で対応しています。また、個別支援のみならず、地域の特性にあわせて町づくりや地区組織活動もしています。

保健師学生は、学内で家庭訪問演習や乳幼児健診、特定健診時の保健指導などロールプレイを通して、知識や技術を学んでいます。そして1週間の保健所実習、2週間の市町保健センターのほか、産業保健、地域包括支援センター等多岐にわたる実習施設で、保健師としての基礎的能力を身につけられるように学修しています。

公衆衛生看護学 吉岡 幸子

令和5年度 健康医療学部別科助産専攻の活動紹介

別科助産専攻の活動報告

4月開設した「別科助産専攻」は、定員4名を迎え、地域の母子保健に貢献する助産師の育成をめざし、多くの方々にご協力を賜りながら無事卒業まで導くことができた。カリキュラムを時間割に組み込む工夫とゲストティーチャーや非常勤講師の調整、教材の活用、臨地実習での調整・指導、初めての助産師国家試験受験など、試行錯誤しながら教員3名でなんとか一年間を乗り越えた。新聞掲載3回、テレビ番組放映1回などで活動を地域に発信することもできた。苦労・努力・反省などの連続であったが、何より学生の成長が励みになった。卒業後は同窓生として「CREA（クレア）の会」を結成し、情報交換や自己研鑽の場として絆を紡いでいきたい。学生のめざましい成長につながった地域での活動を以下に紹介する。

(別科助産専攻 別科長 高橋 雪子)

未就学児の健康教育

八戸学院系列3つの幼稚園と一般募集による園児対象の4回にわたり、未就学児対象の健康教室を学生主体で開催した。内容は、「自分のからだは全部、大事。プライベートゾーンとよばれる場所は特に大事で自分だけのもの。だから大切にしよう！誰かに見せて、触らせてと言われたら、『NO（嫌だ）』『GO（逃げる）』『TELL（お家の人に教える）』だよ。」

学生は、このことをクイズや演劇を交えながらわかりや

すく20分程度で伝えた。園児たちは、興味深く楽しそうに聞き入り、クイズにも大きな声で答えていた。保護者からは「こういうことを園児の時期から教えてほしい」「どうやって子どもに教えたらいいか悩んでいた」といった感想が聞かれ、大変好評であった。これは、性犯罪予防につながるだけでなく、自分の身体は自分だけのものという意識づけに有効で、学生にとって大きな学びとなった。

(別科助産専攻 藤邊 祐子)

高校生女子アスリート対象の健康教室

助産師学生4名が講師となり、八戸学院光星高等学校女子アスリート60名を対象に「月経とスポーツ」というテーマで講義を実施した。月経の仕組み、月経とコンディショニング、月経用品の3つの構成で、生徒にわかりやすく伝えるために講義スライドや資料を何度も何度も修正し、試行錯誤しながら練習を重ねた。さらに、生徒が飽きないように、月経周期の計算や月経痛に効くツボ押し、月経用品に実際に触れてもらうなど、参加型になるような工夫をした。緊張しながらも素直に反応してくれる生徒たちのおかげで楽しく講義を進めることができた。今回の講義をきっかけに、月経と上手に付き合い最高のパフォーマンスにつながることを願い、準備から後片付けまで学生は多くのことを体験し学びを深めることができた。

(別科助産専攻 前森 桃子)

令和5年度 幼児保育学科の活動紹介

約3年にわたるコロナ禍明けの令和5年度は、本学の使命の一つである「地域・社会に貢献する」を具現するために、あらたな科目として「地域文化論」、「地域文化実践講座Ⅰ・Ⅱ」を新設し、地域のボランティア活動や伝統的な行事への参加をはじめ、地域で活躍されている方々を招聘し、地域の歴史、文化、産業等についてご講話いただき、学生にとって「地域を知る」よい機会となった。

主な行事としては、6月の「砂浜彫刻」、7月の「八戸小唄流し踊り」、11月の系列幼稚園3園の年長児との共演による「ノアの方舟」、2月に行われた卒業公演「ミニオペレッタ」が挙げられる。「砂浜彫刻」では、光星高校保育福祉科の生徒さんの参加と系列幼稚園児さんの見学があり、大いに八戸の自然と触れ合うことができた。昨年度同様、法人系列の園児、高校生、短大生の交流が為された意義は大きい。「現代社会が要請する優位の人材を育成することを建学の精神とする」本学の教育の一貫性をあらためて確認する機会となった。また、八戸七夕まつりで行われる「八戸小唄流し踊り」では、これまでは1年生のみに参加であったが、今年度から学科の学生全員が参加した。郷土の発展に貢献する人材育成のためにも地域の伝統文化に親しむ機会をこれからも大切にし、願わくば、卒業後にも子どもたちに伝承してもらいたいと期待している。2年目を迎えた「ノアの方舟」は系列幼稚園児との交流を図りつつ、建学の精神に基づいた文化芸術活動であり、「カトリック精神に則る道徳教育」を具現化するという意味で特筆

に値するイベントであった。卒業公演「ミニオペレッタ」では、光星高校生徒さんや系列3幼稚園園児さんをはじめ、地域の園児さんで八戸市公会堂が埋め尽くされ、舞台と観客が一体となる盛り上がりを見せ、成功裏に幕を閉じた。こうした行事はもとより、教育活動全体を通して本学科のディプロマポリシーの一つである「保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる」学生の育成に今後も全教職一丸となって取り組んでいきたい。



ノアの方舟の学生の合唱



雨の流し踊り



ミニオペレッタ閉幕後の一幕



砂浜彫刻一同で記念撮影

令和5年度 介護福祉学科の活動紹介

介護福祉学科では、地域から要請される高い専門性を有した介護福祉職のリーダーを養成することを目的に様々な教育活動を展開してきた。

令和5年度の入学生は、留学生9名と委託生3名を含む35名であった。学生レディネスが多様であったことから、一部の授業で「留学生クラス」と「日本人クラス」に分けて実施した。さらに、留学生の日本語支援の強化など、特色ある授業設計による展開がなされた。また、2年生は、介護福祉士国家試験合格を目指して国家試験対策に取り組みながら、ゼミ活動として多世代交流、国際交流、地域貢献活動、認知症介助士資格取得、エコキャップ活動、ボランティアへの参加など多くの経験をした。この様々な経験が、学生の介護福祉職としてのアイデンティティの確立に向けて成長する機会となった。



ペットボトルキャップアート作成



エコキャップ活動



オレンジカフェでのボランティア



八戸小唄 流しおどり



(学園祭学科企画:白内障ぬり絵)



(学園祭学科企画:模擬店)

介護人材獲得アクション2023の実施について

産学官の連携のもとに、介護人材不足や福祉専門職の資質の向上という課題解決に向けたプラットフォーム協議会を2022年度から設置し、中高生、保護者向け広報誌の作成や教育現場での福祉啓発活動、福祉に関する調査活動を実施している。これらの活動に学生も参画させ、学生の学びの機会としている。



広報誌(中高生用)



KAIGOFESTAチラシ



オープンカレッジチラシ

(1) KAIGOFESTAの開催

「ボクたちは生きつづけ、そしてトシをとる。」をメインテーマに、令和5年11月11日(土)、幼児保育学科棟を会場にKAIGOFESTAを開催した。参加者は学生55名、一般48名であった。プログラムは、基調講演「一人十色の死生観～人の生きるを支援する」をテーマに社会福祉法人光寿会理事長・太田宣承氏の講演から始まり、その後、映画上映会と分科会に分かれて学びを深めた。映画上映会は、若年性認知症当事者の丹野智文氏の実話を映画化した「オレンジランプ」を上映した。分科会は、①介護で起業する～利益収益大公開～(株式会社リプライズ・下沢孝之氏、介護あんしん相談室サンパチ・小泉紀之氏、合同会社くらしラボ・橘友博氏)、②生活に必要なだから生まれた「高齢者×障害者×農業」(一般社団法人すばるの代表・高橋和人氏)、③誰でも使えるコミュニケーション技術「事実質問」とは?(国民健康保険深浦診療所医師・平野貴大氏)の3つのテーマを設定し、学生は興味関心のある分科会に参加した。さらに、体験コーナー(介護ロボット体験・納棺体験・介護技術体験)や販売コーナーなどを開設し、事業所の方々の協力のもと開催することができた。学生は、多様な視点を持つことの重要性、将来を見越した福祉のあり方、介護の基本的な視点の再確認、リーダーシップの大切さなどを学ぶ機会となった。

(2) オープンカレッジ、児童生徒の「福祉・介護の学び講座」の開催

八戸学院まちなかラボにおいて、介護福祉の普及啓発を目的にオープンカレッジを5回開催(「ヤングケアラーを知ろう(受講者21名)」「認知症(症状編)(受講者10名)」「認知症(マニフェストとは)(受講者8名)」)。また、オープンカレッジに2名の学生が運営スタッフとして参加した。

「福祉・介護の学び講座」では、三条中学校で、「老い、介護の疑似体験」をテーマに、本学教員による講義・演習を2回(2年生96名、3年生98名)実施し、学生6名が演習の補助として参加した。また、八戸学院野辺地西高校においては2年生を対象に「レクリエーションを活用したコミュニケーション術」をテーマに本学教員による講義や演習を実施した。今後も、学生が学んだ知識や技術を活かし活躍できる機会を作っていく予定である。



基調講演会



分科会会



納棺体験

八戸学院大学 令和5年度 入学式 式辞

八戸学院大学へ進学された新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この春、八戸学院大学は、220名、編入学・転入学生として5名。加えて、本年度から新たに開設された別科助産専攻に4名の総数229名を迎えることとなりました。八戸学院大学を代表して、これからの時代を支える皆さん、希望と様々な夢と熱き情熱に満ち溢れる若人を心から歓迎いたします。

本日、ご入学を迎えられたご子弟にこれまで長きにわたり寄り添ってこられたご家族・ご親族の皆様へも心よりお祝いを申し上げます。また、この入学式にご臨席を賜りました八戸市長・熊谷雄一様をはじめ、ご来賓の皆さまへ厚く御礼を申し上げます。

八戸学院大学は、今から42年前、1981年に商学部としてスタートして以来、地域経済へ貢献する多くの人材を輩出してまいりました。この流れを受け継いでいるのが地域経営学部です。今年度、地域経営学部は新入生・編入生・転入生合計85名を迎えます。地域社会の未来を描くことのできる力、地域の発展を支える担い手となる力を育ててきただけの事を期待いたします。

本学において、健康、スポーツ、福祉・看護分野について専門性を高める学びが設けられているのが人間健康学科と看護学科から構成される健康医療学部です。今年度、健康医療学部では新入生・編入生合計140名を迎えます。運動・栄養・休養、さらに、看護・福祉などに関わる専門知識と技術を活かして人々の健康と日々の安心・安全な生活を支え自ら健康の主体として実践できる力量を備えた地域のリーダーが本学から生まれることを願っています。

本年度に新設された別科助産専攻は、看護師の国家資格を有する新入生4名を迎えて、地域に根ざした母子保健活動の実践者を育てます。

本年度の学部新入生の中には韓国出身の留学生が3人含まれています。留学生の皆さんには、八戸学院大学で充実した学生生活を送っていただきたいと願うとともに、皆さんが言語、歴史や文化・習慣が異なる海外からの仲間と美保野のキャンパスで共に過ごし国際的な視野を持つことによって、多様な仲間と共存共生できる力量が醸成されることを期待しています。

これから始まるキャンパスライフの主人公は、光り輝く皆さん一人ひとりです。学科・別科としての学問の探究のみに止まらず、課外でのスポーツ・文化芸術・ボランティア活動等に積極的に参加することで今までとは異なる世界が垣間見えて来ることに大きな期待が寄せられています。学びと課外の学生生活で何を掴んだか、未来のあなたが自信を持って仲間へ伝えることが出来る成果を少なくとも一つはしっかりと掴み取って下さい。

さて、成人となる年齢を20歳から18歳に引き下げる改正民法が昨年の4月1日に施行されました。成人となった18歳19歳の皆さんにとって、規範に則った行動が一層求められる社会を迎えたことを一人ひとりが自覚してください。

結びに、皆さんの郷土となる八戸。この郷土・八戸を「愛する心」、そして、この美保野キャンパスにて共に過ごす短期大学部と大学の仲間を「愛する心」、加えて、皆さん自身の無限の可能性に絶え間なく挑戦する「志」を育んで下さることに大きな期待を寄せて、式辞といたします。

令和5年4月6日

八戸学院大学 学長 水野眞佐夫

八戸学院大学短期大学部 令和5年度 入学式 式辞

幼児保育学科54名、介護福祉学科35名の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんの入学を心より嬉しく思っております。また、本日美保野キャンパスにお出でいただいたご家族の皆様にご挨拶を申し上げますとともに、ご臨席賜りました来賓の方々へ厚く御礼申し上げます。

今年は例年になく春の訪れが早く、美保野キャンパスの桜のつぼみも間もなくほころびそうな気配です。この晴れやかな天候と同様に、社会には明るい変化の兆しが漂っているように思われます。本学でも4月からマスク着用の求めを止め、これからはきちんと顔を見合った関係を作って行けるものと期待しています。

3月に行われた本学の卒業式で、私はとても嬉しい光景を目にしました。学歌のテープが流れているとき、一部の学生が音楽に合わせて笑顔で口を動かしたり、肩を寄せ合って体を揺らしたりしていたのです。その時、私は本当に明るく晴れやかな気持ちになるとともに、彼女たちのもつ資質がこの3年間の制限の多かった生活でも損なわれていないと感じて、深い安堵を覚えました。

私は昨年度から系列の八戸学院幼稚園の園長を兼務しており、先日、初めて卒園児を送り出しました。子どもたちを見ていて感じるの、人は生まれながらにそれぞれ異なる資質、個性をもっているということです。むろん、環境の中でさまざまなことを経験し、変化成長していくわけですが、同じ遊びや働きかけでも子どもによって反応は異なります。それはごく幼い時から見事なほどです。外から見ると同じ経験をしているようでも、一人ひとり内的な世界が異なれば、環境から受け取る情報も異なるでしょう。そのように個性豊かな子どもたちが成長し、その中から保育者を目指す人、介護福祉士を目指す人が出てきてここに集ったというのは、改めて考えると大変貴重な出会いだと思います。

一方、同じく保育や介護の道を選んでも、それぞれ多様な人たちであることには違いありません。ここにいる入学生には社会人経験者もたくさんおられますし、介護福祉学科ではタイとインドネシアから合わせて9名の留学生を迎えました。幼児保育と介護福祉は、どちらも共感性をベースにした専門性が求められる分野であり、皆さんは資質として高い共感性を備えていることと思います。そうした共通点とともに、多様な個性をもった人たちが、人生の一時期をこのキャンパスでともに過ごし、笑いあい学びあう関係性をどうか大切にしてください。

これからの2年間、たくさんの経験を共有しながら、それぞれが目指す保育者、介護福祉士のイメージを醸成し、そこに近づくべく専門性と人間性を高めていくことを期待します。

皆さんの大きな成長を願い、私の式辞といたします。

令和5年4月6日

八戸学院大学短期大学部 学長 杉山 幸子

八戸学院大学 令和5年度 学位記授与式 式辞

春の訪れを告げる暖かな日差しが注ぐこの良き日に、学位記・修了証書授与式を迎えられました八戸学院大学各学部と別科の皆さん、ご卒業・修了おめでとうございます。これまで長きにわたり、ご子弟に寄り添ってこられたご家族・ご親族の皆様へも心よりお祝いを申し上げます。また、この学位記・修了証書授与式にご臨席を賜りました、八戸市長・熊谷雄一様をはじめ、ご来賓の皆様へ御礼を申し上げます。

本日、八戸学院大学は、地域経営学部地域経営学科から69名、健康医療学部人間健康学科からは93名、そして、健康医療学部看護学科からは62名、総数224名が、社会人として新たな一步を、または、大学院へ進学し学びを深める一步を、おのおの踏み出します。別科助産専攻からは、本学において初めての修了生4名を送り出します。

卒業生・修了生の皆さん、本日までの学生生活で、どのような思い出が、今、皆さんの心の中で蘇っているのでしょうか？明日に輝く自分を、とらえることができましたか？あなたが自信を持って仲間へ伝えることが出来る成果を少なくとも一つはしっかりと、掴むことができましたか？美保野で紡いだ思い出の日々を、未来のあなたが、是非、抱きしめ続けてください。

皆さんの学生生活の多くの時間は新しい生活様式として様々な制限が求められたキャンパスライフでした。一方で、本学の建学の精神の下で学び、いよいよ卒業・修了を迎えられた皆さんの多くの幅広い、豊かな経験が、人間力あふれる唯一無二の「光り輝く」卒業生・修了生の一人ひとり

を育てたと、私は確信しています。

本日、卒業の皆さんのお手元へ届けられたアルバムの中で、私はある言葉を引用いたしました。その言葉とは、「夢なき者に成功無し」というものです。これは、古く、明治維新に活躍した多くの若人を育てた吉田松陰の教えです。ここでいう「夢」とは、私利私欲、名誉名声のためではなく、高く掲げた志を意味します。様々な希望と熱き情熱に満ち溢れる皆さんのこれからの歩みにおいて、心に留めていただきたい言葉です。

美保野から旅立つ皆さんのこれから始まる新たな人生における自らの未来について、家族の、職場の、地域の行く末について、思いを馳せて、心の中にしっかりと、志を高々と掲げ、計画し、実行し、夢の実現に向けて、挑戦を続けてください。皆さん一人ひとりが人生の成功者となることを、私は強く信じています。

結びに、皆さんのキャンパスライフに日々寄り添った本学の教職員と共に、そして、同じ美保野のキャンパスで学んできた短期大学部の卒業生の皆さんと一緒に、本学・学位記・修了証書授与式を挙げていただけますことは私の大きな喜びであることを申し添えて式辞といたします。

令和6年3月18日

八戸学院大学 学長 水野 眞佐夫

八戸学院大学短期大学部 令和5年度 学位記授与式 式辞

幼児保育学科82名、介護福祉学科17名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。記録的な暖冬の後、3月に入ってから帳尻を合わせるかのように寒さや大雪に見舞われましたが、やっと春の訪れをはっきりと感じられるようになりました。春告草とも言われる梅の花が芳しい風を運んでくる中、皆さんの旅立ちをこうして祝うことが叶い、教職員一同、感に堪えません。これまで本学の教育活動にご協力賜り、ご子息、ご息女を見守り応援してこられたご家族の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。また、本日も列席賜りましたご来賓の方々に厚く御礼申し上げます。

短期大学の2年間は、皆さんのこれまでの学校生活の中で最も短い期間でした。幼児保育学科、介護福祉学科それぞれに目指す専門職があり、どちらの学科でも授業と学外での実習を交互に経験し、理論と実践を往還しながら学びを深める忙しい2年間だったことでしょう。その中でも、今年度はさまざまな行事において皆さんに存分に力を発揮してもらうことができました。学園祭で学びの成果を生かした学科企画と工夫を凝らした模擬店に大勢の来場者をお迎えし、楽しんでいただけたこと、その中で両学科と大学の学生が協力して盛り上げている姿を見られたのは、本当に嬉しいことでした。来場者には卒業生を含む地域のさま

ざまな施設の職員と、利用者の方がたくさんおられ、本学がこの地域にしっかりと根ざしていることを実感できたのも大きな喜びでした。皆さんがその伝統を受け継ぎ、さらに発展させてくれたことに感謝します。

さて、皆さんのほとんどは本日をもって学生という立場を離れ、社会へと漕ぎ出していきます。これまでは入学・卒業のように、仲間が揃って同じ人生の節目に直面してきましたが、これからはいつ、どのような節目が皆さんの人生に訪れるかは分かりません。人との出会いによって思いがけない方向性が開けることもあれば、何か不測の事態に見舞われる可能性もあります。ただ、その時々で選択や決断をするのは自分である、自分の人生の主体は自分だという意識を手放してはならないと思います。

心理学で「予言の自己成就」や「自己成就的予言」と言われる現象があります。人の思い込みが無意識に態度や行動に表れ、結果的に思った通りのことが実現してしまうという意味で、つまり、自分でネガティブな予想をしていると、無意識のうちにそれを引き寄せてしまう可能性があるのです。

これから人生を切り開いていく皆さんには、ぜひ自分の未来に自分の理想を思い描いてほしいと思います。そのことがまず人生を方向付け、さまざまな出会いや出来事の中から、人生を形作るに足る縁を引き寄せることに繋がるのではないのでしょうか。

皆さんの今後の活躍に期待し、未来に光明あらんことを祈ります。

令和6年3月18日

八戸学院大学短期大学部 学長 杉山 幸子

会 議

①大学運営会議開催

令和5年	4月19日(水)	5月17日(水)	6月21日(水)
	7月19日(水)	9月20日(金)	10月18日(水)
	11月15日(水)	12月13日(水)	
令和6年	1月17日(水)	2月14日(水)	3月13日(水)

②教授会開催

[大学]

○全学教授会

令和5年	4月3日(月)	4月13日(水)	4月26日(水)
	5月24日(水)	6月28日(水)	7月26日(水)
	8月23日(水)	9月27日(水)	10月25日(水)
	11月22日(水)	12月20日(水)	
令和6年	1月24日(水)	2月21日(水)	2月29日(水)
	3月21日(水)		

[短期大学部]

○全学教授会

令和5年	4月3日(月)	4月27日(水)	5月25日(水)
	6月29日(水)	7月27日(水)	9月28日(水)
	10月26日(水)	11月24日(金)	12月21日(水)
令和6年	1月25日(水)	2月22日(水)	2月29日(水)
	3月22日(金)		

人 事

(1) 採用

令和5年4月1日付

○健康医療学部人間健康学科

教 授 遠 藤 光 男
准 教 授 石 原 良 明
講 師 立 石 真 司

○健康医療学部看護学科

教 授 吉 岡 幸 子
准 教 授 樋 口 日 出 子
准 教 授 築 場 理 利 子
助 教 柴 生 田 英 香
助 手 箒 さ と 子

○幼児保育学科

教 授 今 清 孝

○事務局

係 長 三 浦 康 嵩 (学務部キャリア支援課)
主 事 中 村 尚 子
(学務部教務学生課【保健室】/健康管理局)
主 事 小 田 桐 蒼 (学務部教務学生課)

令和5年4月17日付

○事務局

パート職員 鈴 木 佐 也 佳 (学務部短期大学部事務局)

令和5年9月1日付

○幼児保育学科

講 師 船 山 哲 郎

令和5年10月1日付

○健康医療学部人間健康学科

講師 平塚 和也
令和6年2月1日付
○健康医療学部看護学科
助教 小出 るみ子
助教 日當 ひとみ

(2) 昇任

令和5年4月1日付
○健康医療学部人間健康学科
教授 浜中 のり子
○健康医療学部看護学科
教授 坂本 保子
教授 木村 緑
○幼児保育学科
教授 加藤 康子
教授 差波 直樹
○事務局
次長 早川 幸久
課長補佐 安田 久美子
係長 畠山 文絵
係長 奥谷 綾
係長 橘 勇佑
係長 明戸 裕治
係長 小川 啓示

(3) 併任・兼務

令和5年4月1日付
○大学学長
教授 水野 眞佐夫 健康医療学部長
○地域経営学部地域経営学科
教授 田中 哲 八戸学院大学学長補佐
特任教授 一戸 利則 八戸学院大学学長補佐
教授 村本 卓 地域経営学部長
教授 高須 則行 地域経営学科長
准教授 楊 麗栄 八戸学院国際教育局 副局長
○健康医療学部人間健康学科
教授 遠藤 守人 八戸学院健康管理局長
教授 吉田 守実 人間健康学科長
教授 小澤 昭夫 学長特別補佐
○健康医療学部看護学科
教授 高橋 雪子 看護学科長
教授 田中 克枝 看護学科長補佐
○別科助産専攻
教授 高橋 雪子 別科助産専攻長
○短期大学部学長
教授 杉山 幸子 八戸学院幼稚園長
○短期大学部幼児保育学科
教授 加藤 康子 八戸学院短期大学部学長補佐
八戸学院第二しのめ幼稚園長
教授 澤井 睦美 幼児保育学科長
○短期大学部介護福祉学科
教授 柏葉 英美 介護福祉学科長
教授 小川 あゆみ 介護福祉学科長補佐
○事務局
学務部参事 正村 公弘 八戸学院スポーツ局 副局長
学務部参事 工藤 美那子 大学評価支援室長/監査室員
主任 橘 佳奈美 大学評価支援室員

主事 力石 暁 志 錬館舎監

(4) 配置転換

令和5年4月1日付
○地域経営学部地域経営学科
准教授 楊 麗栄 (地域連携研究センターから)
○事務局
課長 納谷 司 (学務課からキャリア支援課へ)
課長 村本 景 (キャリア支援課から学務課へ)
室長・係長 金田一 春香
(短大事務室から地域連携研究センターへ)
室長・係長 坂野 仁志 (教務学生課から短大事務室へ)
係長 高屋敷 好孝 (教務学生課から学務課へ)
舎監 中村 健
(キャリア支援課から教務学生課へ)

(5) 転出

令和5年4月1日付
○事務局
担当部長 松山 政義 (総務部へ)

(6) 転入

令和5年4月1日付
○事務局
主任 船場 亜希 (八戸学院幼稚園から)

(7) 退職

令和5年6月30日付
○健康医療学部看護学科
助手 生駒 祐太

令和5年12月31日付
○健康医療学部看護学科
准教授 樋口 日出子
○事務局
参事 正村 公弘

令和6年3月5日付
○事務局
係長 玉川 哲也

令和6年3月31日付
○地域経営学部地域経営学科
教授 柴垣 博孝
特任教授 鶴見 浩一郎
助教 大沢 宥介
○健康医療学部人間健康学科
教授 熊谷 晶子
准教授 山本 雄大
助教 米田 政葉
○幼児保育学科
教授 吹越 義博
教授 今 清孝
○介護福祉学科
講師 小山田 啓子
○地域連携研究センター
講師 中村 蘭

○事務局
 係 長 小 川 啓 示
 主 事 渋 谷 帆 香

(8) 客員教授

[大学]

令和5年4月1日付

◎客員教授

三 宅 良 彦 (聖マリアンナ医科大学名誉教授・副理事長)
 吉 田 稔 (東京純心女子大学教授)
 梶 谷 伸 夫 (八戸市公民館館長)

[短大]

◎客員教授

三 村 三千代

組 織

[大学]

学 長 水 野 眞佐夫
 運 営 会 議 長 水 野 眞佐夫
 学 長 補 佐 田 中 哲
 学 長 特 別 補 佐 一 戸 利 則
 地 域 経 営 学 部 長 小 村 本 卓
 地 域 経 営 学 科 長 高 須 則 行
 健 康 医 療 学 部 長 水 野 眞佐夫
 人 間 健 康 学 科 長 吉 田 守 実
 看 護 学 科 長 高 橋 雪 子
 看 護 学 科 長 補 佐 田 中 克 枝
 別 科 助 産 専 攻 長 高 橋 雪 子

[短期大学部]

学 長 杉 山 幸 子
 学 長 補 佐 加 藤 康 子
 幼 児 保 育 学 科 長 澤 井 睦 美
 介 護 福 祉 学 科 長 柏 葉 英 美
 介 護 福 祉 学 科 長 補 佐 小 川 あゆみ

◎学長直轄

○IR推進室

室 長 村 本 卓
 副 室 長 野 口 和 也
 室 員 田 村 正 文 千 葉 啓 子
 米 田 政 葉 中 克 枝
 高 橋 英 成

○自己点検評価委員会

委 員 長 村 本 卓

[大学]

副 委 員 長 幸 田 威 久 矢
 委 員 高 須 則 行 吉 田 守 実
 高 橋 雪 子 小 澤 昭 夫
 井 元 紀 子 小 沢 久 美 子

[短期大学部]

副 委 員 長 吹 越 義 博
 委 員 加 藤 康 子
 高 橋 英 成 鳴 海 孝 彦

○学生相談・特別支援室

室 長 木 村 緑
 副 室 長 野 口 和 也
 室 員 木 野 宮 澤 君 子
 金 地 美 知 彦
 山 田 啓 子

◎学長方針PJT

○情報交換会

水 野 眞 杉 山 幸 子
 田 中 哲 一 戸 利 則 行 子
 村 本 卓 高 須 則 雪 子
 吉 田 守 実 高 橋 藤 康 子
 田 中 克 枝 加 柏 葉 英 美
 澤 井 睦 美

○建学の精神PJT

杉 山 幸 子 石 原 良 明

○教育DX PJT

責 任 者 坂 本 貴 博
 担 当 村 本 光 琢 卓 磨 馬 場 祥 次
 有 市 川 裕 美 子 石 藤 高 橋 良 祐 英 成

◎委員会

○入学者選抜委員会

委 員 長 田 中 哲
 副 委 員 長 加 藤 康 子
 委 員 水 野 眞 杉 山 幸 子
 一 戸 利 則 行 子 吉 田 守 実
 高 須 則 雪 子 高 橋 藤 康 子
 澤 井 睦 美 坂 本 貴 博
 馬 場 中 敬 一

○学費等減免選考委員会

委 員 長 田 中 哲
 委 員 水 野 眞 杉 山 幸 子
 村 本 卓 高 須 則 行 子
 吉 田 守 実 高 橋 藤 康 子
 澤 井 睦 美 坂 本 貴 博
 差 波 直 樹 加 三 浦 文 恵

○教育ローン利子補給奨学金審査委員会

委 員 長 水 野 眞 杉 山 幸 子
 委 員 村 本 卓 高 須 則 行 子
 吉 田 守 実 高 橋 藤 康 子
 澤 井 睦 美 坂 本 貴 博 差 波 直 樹

○研究倫理委員会

委 員 長 奈 良 卓
 副 委 員 長 熊 谷 晶 子
 委 員 崔 桓 碩 千 葉 啓 子
 遠 藤 光 男 高 橋 口 和 也
 古 館 美 喜 子 野 口 和 也

○教務委員会

[大学]

委 員 長 加 来 聡 伸

副委員長 金地美知彦
 委員 崔桓碩 横田将志
 大木えりか 泉水朝宏
 小沢久美子 切明美保子
 溝江弓恵 西川健香
 藤邊祐子 柴生田英哉
 根城隆幸 木村浩哉
 大沢宥介 渡邊陵由
 浜中のり子 泉水朝宏
 宮澤君子

・教職課程担当

〔短期大学部〕

委員長 三浦文恵
 副委員長 池田拓馬
 委員 吹越義博 鈴木康弘
 小川あゆみ 鈴木絵美

○ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会

委員長 井元紀子
 副委員長 今清孝
 委員 G. アンソニー 楊麗栄
 石原良明 吉岡幸子
 三浦広美 西川健
 池田拓馬
 船山哲郎(令和5年9月から)
 高橋英成

○学生委員会

〔大学〕

委員長 坂本貴博
 副委員長 大木えりか
 委員 G. アンソニー 田村正文
 有光琢磨 立石真司
 平塚和也(令和5年10月から)
 坂本保子 築場理利子
 足澤ちか子 前森桃子
 箒さと子

〔短期大学部〕

委員長 差波直樹
 副委員長 岩館亜沙美
 委員 本吉好 橋本知子

○広報委員会

委員長 山本雄大
 副委員長 小川あゆみ
 委員 幸田威久矢 横田将志
 大沢宥介 浜中のり子
 工藤祐太郎 木村緑
 樋口日出子(令和5年12月まで)
 久保宣子 堺香奈子
 中嶋栄子 本吉好
 船山哲郎(令和5年9月から)
 鈴木絵美

○入学試験運営委員会

委員長 馬場祥次
 副委員長 田中敬一
 委員 田村正文 幸田威久矢
 大沢宥介 山本雄大
 金地美知彦 米田政葉
 市川裕美子 足澤ちか子
 今清孝 鈴木康弘

岩館亜沙美

○就職支援委員会

〔大学〕

委員長 井上丹
 副委員長 宮澤君子
 委員 柴垣博孝 佐藤千恵子
 立石真司
 平塚和也(令和5年10月から)
 坂本弘子 佐々木真湖
 生駒祐太(令和5年6月まで)

〔短期大学部〕

委員長 天摩雅和
 副委員長 小山田啓子
 委員 橋本知子 坂本利枝子

○国際交流・留学生支援委員会

委員長 柴垣博孝
 副委員長 横田将志 三浦文恵
 委員 B. グロスマン G. アンソニー
 崔桓碩 楊麗栄
 渡邊陵由 遠藤光男
 壬生寿子 久保宣子
 坂本利枝子
 地域連携研究センター 中村蘭

○図書館

館長 奈良卓
 副館長 中嶋栄子

○図書委員会

委員長 奈良卓
 副委員長 中嶋栄子
 委員 B. グロスマン 熊谷晶子
 小澤昭夫 切明美保子
 堺香奈子

○地域連携研究センター

センター長 堤静子
 副センター長 加藤康子

○地域連携研究センター運営委員会

委員 木村浩哉 大沢宥介
 佐藤千恵子 工藤祐太郎
 田中克枝 差波直樹
 鳴海孝彦
 地域連携研究センター 中村蘭 川守田景子

規 程

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間に、次の規程が一部改正された。

<一部改正>

令和5年4月1日施行

○八戸学院大学学則

○八戸学院大学短期大学部学則

令和5年4月19日施行

○八戸学院大学別科助産専攻規程

令和5年11月15日施行

○八戸学院大学短期大学部既修得単位等の認定に関する規程

令和6年4月1日施行

○八戸学院大学学則

- 八戸学院大学短期大学部学則
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部運営会議規程
- 八戸学院大学教授会規程
- 八戸学院大学短期大学部教授会規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部入学者選抜委員会規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部広報委員会規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部入学試験運営委員会規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部研究倫理委員会規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部国際交流・留学生支援委員会規程
- 八戸学院大学教務委員会規程
- 八戸学院大学学生委員会規程
- 八戸学院大学就職支援委員会規程
- 八戸学院大学外部評価委員会規程
- 八戸学院大学短期大学部教務委員会規程
- 八戸学院大学短期大学部学生委員会規程
- 八戸学院大学短期大学部就職支援委員会規程
- 八戸学院大学教員採用・昇任規程
- 八戸学院大学短期大学部教員採用・昇任規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部利益相反規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部における公的研究費の管理・監査および研究活動における不正行為への対応等にかかわる基本方針
- 八戸学院大学化学物質等管理規程
- 八戸学院大学防火管理規程
- 八戸学院大学短期大学部防火管理規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部公的研究費の管理・監査に関する規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学外共同研究規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部受託研究取扱規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部科学研究費補助金経理事務取扱規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部における予算執行の不正防止に関する規程
- 八戸学院大学専任教員研究経費助成金取扱規程
- 八戸学院大学短期大学部専任教員研究経費助成金取扱規程
- 八戸学院サテライトキャンパス利用規則
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部研究生規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部外国人留学生日本語研修コース規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学費納付規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部障害学生修学支援規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部車両通学規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部車両通学規程違反の措置に関する内規
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部における国民年金保険料の学生納付特例申請に関する事務取扱規程
- 八戸学院大学履修規程
- 八戸学院大学試験規程
- 八戸学院大学科目等履修生規程
- 八戸学院大学外国留学規程

- 八戸学院大学課外活動規程
- 八戸学院大学学生通則
- 八戸学院大学短期大学部履修規程
- 八戸学院大学短期大学部試験規程
- 八戸学院大学短期大学部学生通則
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学生表彰規程
- 八戸学院大学懲戒処分について（内規）
- 八戸学院大学短期大学部懲戒処分について（内規）
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部教育ローン利子補給奨学金規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部外国人留学生学納金等減免規程
- 八戸学院大学学業特待生規程
- 八戸学院大学創造育成特待生規程
- 八戸学院大学修学奨励生規程
- 八戸学院大学授業料等減免規程
- 八戸学院大学短期大学部学業特待生規程
- 八戸学院大学短期大学部創造育成特待生規程
- 八戸学院大学短期大学部修学奨励生規程
- 八戸学院大学短期大学部授業料等減免規程
- 八戸学院大学短期大学部光星学院系列高等学校関係奨学等に関する内規
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学生相談・特別支援室規程
- 八戸学院図書館規程細則
- 八戸学院図書館個人情報保護規程
- 八戸学院地域連携研究センター規程

諸 報（外郭三団体）

■外郭諸団体の会議（後援会・同窓会・父母の会）

[大学]

- ・後援会令和4年度会計監査
令和5年7月7日(金)
- ・同窓会令和4年度会計監査
令和5年7月6日(木)
- ・父母の会令和4年度会計監査
令和5年7月6日(木)
- ・後援会常任理事会
令和5年7月27日(木)
- ・後援会理事会
令和5年7月27日(木)
- ・同窓会役員会
令和5年7月25日(火)
- ・同窓会評議員会
令和5年7月25日(火)
- ・父母の会役員会
令和5年7月28日(金)
- ・父母の会総会
令和5年7月28日(金)
- ・八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部外郭三団体合同懇談会
令和6年3月19日(火) 八戸プラザホテル

[短期大学部]

- ・後援会令和4年度会計監査

- 令和5年5月16日(火) 八戸学院大学短期大学部幼児保育学科棟121講義室
- ・後援会常任理事会
令和5年6月27日(火) 八戸プラザホテルグレースホール
 - ・後援会理事会
令和5年6月27日(火) 八戸プラザホテルグレースホール
 - ・同窓会令和4年度会計監査
令和5年5月15日(月) 八戸学院大学短期大学部幼児保育学科棟121講義室
 - ・同窓会理事会
令和5年7月25日(火) 八戸プラザホテルアーバンホール「あじさいの間」
 - ・同窓会第50回総会
令和5年7月25日(火) 八戸プラザホテルアーバンホール「あじさいの間」
 - ・父母の会令和4年度会計監査
令和5年5月15日(月) 八戸学院大学短期大学部幼児保育学科棟121講義室
 - ・父母の会役員会
令和5年7月24日(月) 八戸プラザホテルグレースホール
 - ・父母の会総会
令和5年7月24日(月) 八戸プラザホテルグレースホール
 - ・父母の会学業相談・保護者面談会
令和5年9月30日(土) 八戸学院大学短期大学部幼児保育学科棟および9号館
 - ・八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部外郭三団体合同懇談会
令和6年3月19日(月) 八戸プラザホテル

諸 報 (式典)

(1) 2023年度入学式

2023年度入学式が、2023年4月6日(木)14時から、八戸学院総合体育館において挙行されました。地域経営学科入学生85名(転入生1名、編入生1名、留学生2名含む)、人間健康学科入学生93名(編入生1名、留学生1名含む)、看護学科入学生47名(編入生2名含む)、別科助産専攻入学生4名、幼児保育学科入学生54名(委託生3名含む)、介護福祉学科入学生35名(委託生3名、留学生9名含む)の入学が許可されました。

(2) 2023年度学位記・修了証書授与式

2023年度学位記・修了証書授与式が、2024年3月18日(月)14時から、八戸市公会堂において挙行されました。地域経営学科卒業生69名、人間健康学科卒業生93名、看護学科卒業生62名、別科助産専攻修了生4名、幼児保育学科卒業生82名、介護福祉学科卒業生17名に学位記・修了証書が授与されました。

諸 報

(1) 入学者選抜委員会

- 庶務日誌摘録
 - 第1回 令和5年10月17日(火)
 - 第2回 令和5年11月27日(月)
 - 第3回 令和5年12月19日(火)
 - 第4回 令和6年2月13日(火)
 - 第5回 令和6年2月27日(火)
 - 第6回 令和6年3月12日(火)

(2) 学費等減免選考委員会

- 庶務日誌摘録
 - ・令和5年5月12日(金)
 - ・令和5年6月9日(金)
 - ・令和5年7月7日(金)
 - ・令和6年2月1日(木)

(3) I R推進室

- ①事業内容
 - ティーチングポートフォリオ継続実施
 - ルーブリック評価継続実施
 - 卒業時アンケート継続実施
 - アセスメントポリシー推進
 - ディプロマ・サプリメント実施
- ②庶務日誌摘録
 - I R推進室会議
令和5年4月24日(月)

(4) 自己点検評価委員会

[大学・短期大学部]

- ①機関別認証評価受審状況
 - ・令和5年6月29日(木) 報告書提出
 - ・令和5年9月12日(火) 書面質問回答
 - ・令和5年10月4日(水)～6日(金) 実地調査
 - ・令和6年3月15日(金) 評価結果「適合」通知
- [大学]
 - ①「令和5年度八戸学院大学自己点検評価書」発行
 - ・令和5年6月
 - ②庶務日誌摘録
 - 自己点検評価委員会会議
令和5年4月18日(火) 大学・短大合同
令和5年5月2日(火)
令和6年1月15日(月) 大学・短大合同
- [短期大学部]
 - ①「令和5年度八戸学院大学短期大学部自己点検評価書」発行
 - ・令和5年6月
 - ②庶務日誌摘録
 - 自己点検評価委員会会議
令和5年4月18日(火) 大学・短大合同
令和5年4月26日(水)
令和5年5月2日(火)
令和5年5月8日(月)
令和5年5月9日(火)
令和6年1月15日(月) 大学・短大合同

(5) 学生相談・特別支援室

①学内研修会

- ・令和5年度学生相談・特別支援室学内研修会
テーマ：「合理的配慮を行う際の基準と学生の悩みやこころの不調に対する対応の仕方」
講師：岩手大学保健管理センター 准教授・カウンセラー 早坂 浩志氏
開催日：令和5年8月29日(火)
場所：大学5号館520講義室（対面・オンデマンド）

②学外研修会

- ・「第61回 全国学生相談研修会 第1部」
主催：一般社団法人日本学生相談学会
開催日：令和5年11月10日(金)
開催方式：オンライン開催
参加者：金地 美知彦（学生相談・特別支援室員）
- ・「第61回 全国学生相談研修会 第2部」
主催：一般社団法人日本学生相談学会
開催日：令和5年11月18日(土)～19日(日)
開催方式：参集開催
参加者：金地 美知彦（学生相談・特別支援室員）
- ・「令和5年度 大学における自殺対策推進のための研修」
主催：厚生労働大臣指定法人・一般社団法人 いのち支える自殺対策推進センター
開催日：令和6年2月
開催方式：オンデマンド形式
参加者：木村 緑（学生相談・特別支援室長）
宮澤 君子（学生相談・特別支援室員）
- ・「令和5年度 障害学生支援に関する専門テーマ別セミナー」
セミナー①「卒後を見据えた障害学生支援～就職支援企画の実践報告から～」
セミナー②「合理的配慮のコモディティ化と基礎的環境整備～ユニバーサルな修学支援とは？～」
主催：独立行政法人日本学生支援機構・国立大学法人 宮城教育大学
開催日：令和6年2月
開催方式：オンデマンド形式
参加者：中村 尚子（学生相談・特別支援室担当事務）

③庶務日誌摘録

- 第1回 令和5年4月24日(月)
- 第2回 令和5年5月8日(月)
- 第3回 令和5年6月5日(月)
- 第4回 令和5年7月3日(月)
- 第5回 令和5年9月4日(月)
- 第6回 令和5年10月2日(月)
- 第7回 令和5年11月6日(月)
- 第8回 令和6年2月5日(月)
- 第9回 令和6年3月4日(月)

(6) 研究倫理委員会

- 第1回委員会（令和5年6月26日（月）開催）
申請11件（承認9件、条件付承認2件）
- ・養護教諭養成課程学生の看護学に対する興味に関する研究
（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 教授 浜中 のり子）
- ・東北の中学生を対象としたメンタルヘルスに関するコ

ホートスタディ

- （研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 助教 米田 政葉）
- ・看護大学生の基礎看護学実習Ⅱ・Ⅲにおける対象理解に関する学び
（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 教授 小沢 久美子）
- ・看護学士課程教育におけるコアコンピテンシーと卒業時到達目標に関する研究
（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 教授 小沢 久美子）
- ・ダブルケア予備軍である若者ケアラーに関する実態調査
（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 教授 坂本 保子）
- ・精神保健福祉における訪問看護と障害福祉サービスの連携における課題
（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 教授 木村 緑）
- ・看護学生における保健師の認識に関する基礎的調査～A大学のWeb調査結果から～
（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 教授 吉岡 幸子）
- ・国際看護学教育におけるGigerの異文化アセスメントの視点をういた教育プログラムの成果の検証－cultural competenceの獲得を評価指標に－
（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 講師 久保 宣子）
- ・中国の大学とオンライン交流会を経験した学生の異文化接触による意識の変容－テキストマイニングによる分析
（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 講師 久保 宣子）
- ・保健体育の教科を担当する教員のメンタルヘルスリテラシーの現状
（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 助手 生駒 祐太）
- ・自然災害に備えた成年後見活動の調査
（研究責任者：八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科 講師 高橋 英成）
- 第2回委員会（令和5年10月24日（火）開催）
申請11件（承認9件、条件付承認2件）
- ・多文化共生社会をめざした異文化コミュニケーショントレーニングの効果性－日本人住民と外国人住民を対象とした双方向の試み－
（研究責任者：八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科 准教授 楊 麗 栄）
- ・居住地域への愛着形成の心理過程の検討：中高生調査
（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 准教授 山本 雄大）
- ・日本の若者における性交後抑うつ経験率に関する基礎的調査
（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 准教授 山本 雄大）
- ・知的障害者の意思決定支援における支援者がとらえる実践上の課題－インタビューによる実態調査－
（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 講師 立石 真司）
- ・自転車競技タイムトライアル種目における各種要因の検

討

(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 助教 泉水 朝 宏)

・改正カリキュラムにおける「地域・在宅看護論」に対応した教育プログラムの取り組み

(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 教授 壬 生 寿 子)

・オーストラリアで就労の日本人看護師と看護学生とのオンライン交流の効果と課題

(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 教授 壬 生 寿 子)

・看護大学生の防災への関心の実態と関連要因 (仮)

(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 准教授 坂 本 弘 子)

・保育者養成課程における幼児との総合表現の実践～表現に関わる教科の連携に視点をあてて～ (仮)

(研究責任者：八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 准教授 中 嶋 栄 子)

・特別養護老人ホームにおける入浴介護の調査

(研究責任者：八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科 講師 高 橋 英 成)

・セルフ・ネグレクト事例の終結に繋ぐ専門職の支援に関する研究 (研究計画変更申請)

(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 教授 吉 岡 幸 子)

(7) 教務委員会

①各賞受賞者 (2023年度卒業生)

[大学]

〈理事長特別賞〉

・上 野 恵理子 (健康医療学部人間健康学科)

・安 田 彩 夏 (健康医療学部人間健康学科)

〈学長賞〉

・松 橋 希 美 (地域経営学部地域経営学科)

・石 田 彩 乃 (健康医療学部人間健康学科)

・尾 崎 実 結 (健康医療学部看護学科)

・小 館 杏 佳 (別科助産専攻)

〈優等賞〉

・所 優 豪 (地域経営学部地域経営学科)

・葺 山 大 路 (地域経営学部地域経営学科)

・古 川 日 香 (健康医療学部人間健康学科)

・成 澤 ななみ (健康医療学部人間健康学科)

・横 濱 亜 未 (健康医療学部看護学科)

・佐々木 葵 衣 (健康医療学部看護学科)

〈(一社)日本ソーシャルワーク教育学校連盟優秀者表彰〉

・木 村 涼 楓 (健康医療学部人間健康学科)

〈(一社)日本私立看護系大学協会会長賞〉

・松 坂 優 生 (健康医療学部看護学科)

[短期大学部]

〈学長賞〉

・熊 野 ほの花 (幼児保育学科)

・佐々木 遥 香 (介護福祉学科)

〈優等賞〉

・高 谷 実 慈 (幼児保育学科)

・上 野 裕 佳 (幼児保育学科)

・木 村 勝 信 (介護福祉学科)

・新沼 館 み ゆ (介護福祉学科)

〈(一社)全国保育士養成協議会会長賞〉

・畠 山 莉 那 (幼児保育学科)

〈(公社)日本介護福祉士養成施設協会会長賞〉

・藪 田 涼 花 (介護福祉学科)

②教員免許状等取得者

[大学]

高等学校教諭一種免許状 (情報) 4名

高等学校教諭一種免許状 (商業) 7名

中学校教諭一種免許 (保健体育) 17名

高等学校教諭一種免許 (保健体育) 23名

養護教諭一種免許 16名

[短期大学部]

幼稚園教諭二種免許 75名

保育士 78名

③集中講義の実施状況<日程・科目名 (担当教員)>

《春学期》

8月17日(木)～8月22日(火) 教育方法論 (森本 洋介)

8月23日(水)～8月28日(月) 流通経済論 (中居 裕)

児童心理学 (山本 雄大)

8月23日(水)・8月24日(木) スケート (田名部 和彦)

8月25日(金)・8月28日(月)

8月24日(水)～8月28日(月) 地域経営学特殊講義Ⅲ (井上 丹)

8月29日(火)～9月1日(金)

行動の科学 (石岡れい子)

総合的な学習の時間の指導法 (富澤 美千子)

地域イノベーション・マネジメント (堤 静子)

スポーツ心理学 (粟木 一博)

《秋学期》

1月5日(金)～1月10日(水) 体育原理 (佐貫 綾乃)

1月30日(火)～2月1日(木)

スキー (渡邊 陵由、工藤 祐太郎、泉水 朝

宏、平塚 和也)

1月29日(月)～2月2日(金) 薬理概論 (寺田 淳)

2月5日(月)～2月9日(金)

芸術論 (皆川 俊平、東方 悠平)

フットボールスポーツ (工藤 祐太郎)

2月5日(月)、7日(水) ヘルスカウンセリング (瀧澤 志穂)

8日(木)、9日(金)、16日(金)

④学外会議

・第72回東北・北海道地区大学等高等・共通教育研究会

開催日 2023年9月7日(木)、9日(金)

場 所 小樽商科大学 (対面開催)

出席者 高須 則行 (地域経営学部地域経営学科 学科
長・教授)

加来 聡伸 (地域経営学部地域経営学科 准教授)

⑤庶務日誌摘録

[大学]

令和5年 4月12日(水) 5月10日(水) 6月14日(水)

7月12日(水) 9月13日(水) 10月11日(水)

11月8日(水) 12月6日(水)

令和6年 1月10日(水) 2月14日(水) 2月21日(水)

3月13日(水)

[短期大学部]

令和5年 4月3日(月) 4月27日(木) 5月25日(木)

6月29日(木) 7月27日(木) 9月28日(木)

10月26日(木) 11月24日(金) 12月21日(木)

令和6年 1月25日(木) 2月22日(木)

(8) ファカルティ・デベロップメント (FD) 委員会

①学外会議

- ・第30回FDネットワーク“つばさ”FD協議会

開催日：令和5年6月30日(金)

※対面・Zoomによるハイブリッド開催

出席者：井元 紀子（八戸学院大学健康医療学部人間健康学科 教授）

- ・第31回FDネットワーク“つばさ”FD協議会

開催日：令和6年3月15日(金)

※ZOOMによるオンライン開催

出席者：石原 良明（八戸学院大学健康医療学部人間健康学科 准教授）

②実施事業（学内研修会・公開授業等）

- ・新任教員向けはちがくキャンパスWeb研修会

開催日：令和5年4月14日(金)

会 場：7号館2階721教室

講 師：馬場 祥次（八戸学院大学地域経営学部地域経営学科 准教授）

参加者：15名（うち新任教員10名）

- ・2023年度FD研修会

開催日：令和4年11月30日(木)

会 場：5号館2階520教室

講 師：阿部 宇洋（国立大学法人 山形大学 学術研究院 学士過程基盤研究院）

参加者：大学・短大教員 83名（録画視聴含む）

- ・公開授業

①講義日：令和5年9月26日(火)2時限目

※対面実施（録画配信あり）

科目名：社会心理学

講 師：山本 雄大（八戸学院大学健康医療学部人間健康学科 准教授）

②講義日：令和5年9月14日(木)3時限目

※対面実施（録画配信あり）

科目名：成人看護援助論Ⅰ（急性期・周手術期）

講 師：坂本 弘子（八戸学院大学健康医療学部看護学科 准教授）

③講義日：令和5年11月6日(月)3時限目

※対面実施（録画配信あり）

科目名：幼児保育学科 教育相談

講 師：野口 和也（八戸学院大学短期大学部幼児保育学科 教授）

庶務日誌摘録

令和5年4月20日(木)

令和5年5月18日(木)

令和5年6月15日(木)

令和5年7月20日(木)

令和5年9月21日(木)

令和5年10月19日(木)

令和5年11月16日(木)

令和6年1月18日(木)

令和6年2月15日(木)

(9) 学生委員会

[大学学生委員会]

委員長 坂本 貴博

副委員長 大木えりか

委 員 グレゴリー・アンソニー 田村 正文

有光 琢磨 立石 真司 平塚 和也

坂本 保子 築場理利子 筈 さと子

前森 桃子 足澤ちか子

- ・学生委員会庶務日誌摘録

第1回 令和5年4月12日(月)

第2回 令和5年5月8日(月)

第3回 令和5年6月5日(月)

第4回 令和5年7月3日(月)

第5回 令和5年9月11日(月)

第6回 令和5年10月2日(月)

第7回 令和5年11月13日(月)

第8回 令和5年12月4日(月)

第9回 令和6年1月12日(金)

第10回 令和6年2月5日(月)

第11回 令和6年3月4日(月)

①学生委員会学外会議

なし

②学生委員会学内行事

- ・2023年度定期健康診断

開催日 2024年4月4日(月)、20日(水)、21日(木)、22日(金)、26日(火)

場 所 八戸市総合健診センター

受診者 955名

- ・2023年度日本学生支援機構奨学金「予約採用説明会」

開催日 2023年4月5日(水)

場 所 520講義室 330講義室 833講義室
短大 211講義室

- ・2023年度日本学生支援機構奨学金「在学採用新規申込説明会」

開催日 2023年4月10日(月)～14日(金)

場 所 520講義室

- ・2023年度第1回交通安全講習会

開催日 2023年4月3日(水)、4月4日(木)

場 所 831講義室、832講義室および520講義室（在学生）、833講義室および330講義室520講義室（新入生）

DVD視聴「時速100kmの衝撃」

受講生 626名

- ・2023年度日本学生支援機構奨学金「採用説明会」

開催日 2023年5月9日(火)、12日(金)

場 所 320講義室

- ・2023年度クラブ・サークル代表者会議

開催日 2023年5月11日(木)

場 所 320講義室

- ・2023年度学生大会

開催日 2023年5月12日(金)

場 所 520講義室

- ・2023年度学生生活にかかわる講演会

開催日 2023年7月3日(月)

場 所 520講義室

演 題 「身近に潜む甘い罠」[県内の交通情勢について]

講 師 八戸警察署

生活安全課 防犯担当 係長 山根 章義 氏

交通第一課 安全教育 係長 安重 徹

参加者 213名

- ・はちがくフェス2023
開催日 2023年10月21日(土)～22日(日)
場 所 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部 美保野キャンパス
テーマ 「笑顔満祭」
参加者 1,100名
- ・2023年度日本学生支援機構奨学金「返還説明会」
開催日 2023年11月16日(休)
場 所 111講義室
対象者 2024年度3月貸与者(4年生:卒業予定者)
- ・2023年度美保野キャンパスクリスマス企画
開催日 2023年12月1日(金)
場 所 520講義室
内 容 お祈り、ハンドベル演奏、抽選会
- ・2023年度日本学生支援機構奨学金「継続説明会」
開催日 2023年12月5日(火)、11日(月)
場 所 520教室
対象者 2023年度貸与者(4年生を除く)
- ・2023年度クラブ・サークル活動報告会
開催日 2023年12月8日(金)
場 所 520講義室
懇親パーティはインフルエンザ感染拡大防止のため中止
- ・2023年度八戸学院大学学友会役員選挙
投票日 2023年12月20日(水)
選挙結果 ○執行委員長
戸 館 臨(地域経営学部地域経営学科2年)
○副執行委員長
中野 夏見(地域経営学部地域経営学科2年)
川村 奈央(健康医療学部人間健康学科2年)
○書記長
佐々木 諒(地域経営学部地域経営学科1年)
関 順晟(地域経営学部地域経営学科1年)

③スポーツ戦績

◆硬式野球部

- ・春季リーグ(4/15～5/21) 場所:青森県営野球場他
本学 9-2 岩手大学
本学 不戦勝 岩手大学
本学 6-0 青森中央学院大学
本学 1-6 青森中央学院大学
本学 3-4 青森大学
本学 0-6 青森大学
本学 1-8 富士大学
本学 4-3 富士大学
本学 7-3 ノースアジア大学
本学 6-8 ノースアジア大学 2位
- ・新人戦(6/24～6/25・7/1～7/2) 場所:八戸東運動公園野球場
本学 5-0 青森公立大学
本学 4-0 ノースアジア大学
本学 0-6 富士大学
- ・秋季リーグ(8/19～9/24) 場所:一戸町総合運動公園野球場
本学 5-10 青森中央学院大学
本学 8-1 青森中央学院大学
本学 6-1 ノースアジア大学
本学 0-3 ノースアジア大学
本学 5-3 岩手大学

- 本学 3-2 岩手大学
- 本学 4-0 青森大学
- 本学 2-0 青森大学
- 本学 4-3 富士大学
- 本学 8-5 富士大学 優勝

・第15回東北地区大学野球代表決定戦(10/22～10/23)

- 本学 6-1 東日本国際大学
- 本学 2-7 富士大学
- 本学 1-2 富士大学

◆男子サッカー部

・東北大学サッカーリーグ

- 本学 2-0 東日本国際大学
- 本学 5-0 岩手大学
- 本学 0-1 東北大学
- 本学 3-0 東北学院大学
- 本学 0-0 富士大学
- 本学 0-3 ノースアジア大学
- 本学 0-4 仙台大学
- 本学 8-0 東日本国際大学
- 本学 4-0 岩手大学
- 本学 2-1 東北大学
- 本学 2-0 東北学院大学
- 本学 2-1 富士大学
- 本学 3-1 ノースアジア大学
- 本学 1-1 仙台大学 結果 9勝2分3敗 3位

・総理大臣杯

- 二回戦 本学 5-0 青森中央学院大学
- 準々決勝 本学 3-0 東北工業大学
- 準決勝 本学 3-4 富士大学
- 3位決定戦 本学 6-3 東北大学 結果 3位

・天皇杯

- 1回戦 本学 7-3 七戸サッカークラブ
- 2回戦 本学 6-1 海上自衛隊サッカー部
- 準々決勝 本学 1-3 ブランデュー弘前

◆女子サッカー部

・東北女子サッカーリーグTOPリーグ

8位(2勝12敗)勝点7

・東北地域大学女子サッカーリーグ

2位(2勝1敗)勝点6

・THFA河北新報旗争奪 第42回東北女子サッカー選手権大会 兼 第45回皇后杯JFA全日本女子サッカー選手権大会東北大会 ベスト8

- 1回戦 vsノースアジア大学明桜高等学校 7-0
- 2回戦 vs仙台大学 0-4

・第32回全日本大学女子サッカー選手権大会 1回戦敗退

- 1回戦 vs活水女子大学 1-2

◆アイスホッケー部

・令和5年度東北地区学生アイスホッケー秋季大会(10/21)

- 本学 3-2 東北学院大学
- 本学 12-2 東北福祉大学
- 本学 6-0 八戸工業大学 優勝

・令和5年度東北地区学生アイスホッケー選手権大会 兼 第96回日本学生氷上競技選手権大会東北地区予選(11/17～11/19)

本学 15-0 山形大学
本学 6-0 八戸工業大学
本学 4-2 東北学院大学 優勝
・第96回日本学生氷上競技選手権大会ファーストディビジョン (12/25) 場所：三沢アイスアリーナ
本学 1-6 慶應義塾大学

◆陸上競技部

・第107回日本陸上競技選手権大会 6/1~4
場所：大阪・ヤンマースタジアム長居
男子100m 7位 灰玉平侑吾
(なお準決勝で10秒24は青森県新記録)
・第76回東北学生陸上競技対校選手権 6/9~11
場所：岩手・北上陸上競技場
男子4×100mR 3位 小山樹 伊藤加周、賀美正剛、灰玉平侑吾
女子走高跳 2位 新田 凜

◆男子バスケットボール部

・東北大学北奥羽春季大会 場所：秋田県三種町琴丘総合体育館
本学 101-49 ノースアジア大学
本学 56-57 青森中央学院大学
本学 84-58 弘前大学 結果3位
・第24回東北大学リーグ一部 (9/1~9/10、10/7~9)
場所：青森中央学院大学体育館、東北学院大学
本学 63-85 仙台大学
本学 55-60 東北学院大学
本学 77-117 富士大学
本学 83-53 岩手大学
本学 77-92 青森中央学院大学 結果第5位
順位決定戦場所：花巻市総合体育館
本学 103-67 結果一部残留

◆女子バスケットボール部

・東北大学北奥羽春季大会 場所：秋田三種町琴丘総合体育館
本学 88-64 青森中央学院大学
本学 63-60 富士大学 結果優勝
・全日本大学新人戦代表決定戦 (6/11) 場所：東北学院大学
本学 68-67 青森中央学院大学
本学 77-87 東北学院大学 2位
・第24回東北大学リーグ一部 (9/1~9/10、10/7~9)
場所：青森中央学院大学体育館
一次リーグ
本学 140-36 弘前大学
本学 85-71 青森中央学院大学
本学 80-86 仙台大学
本学 74-72 東北学院大学
本学 71-63 富士大学
二次リーグ
本学 90-65 富士大学
本学 77-70 仙台大学
本学 82-85 東北学院大学 準優勝
・2023全日本大学バスケットボール選手権大会 (12/4~7)
場所：エスフォルタアリーナ八王子

グループステージ
本学 75-92 愛知大学
本学 79-67 新潟医療福祉大学

◆男子ラグビー部

・2023年度東北地区ラグビーリーグ (9月10日~10月16日)
本学 不戦勝 福島大学
本学 102-0 岩手大学
本学 40-19 東北大学
本学 19-19 東北学院大学
引き分け1位通過 東北代表決定
・2022北日本大学ラグビー交流戦 (10月30日)
場所：札幌市月寒ラグビー場
八戸学院大学 42-7 札幌大学
場所：プライフーズスタジアム (11月6日)
八戸学院大学 51-19 北海道大学
北海道・東北代表として全国大学選手権出場
・第60回全国大学ラグビーフットボール選手権大会 (11月19日)
場所：ミクニワールドスタジアム北九州
八戸学院大学 22-76 中京大学
・令和5年度 第74回東北地区大学体育大会
場所：秋田 スペースプロジェクト・ドリームフィールド
結果：優勝
・イーハトーブリーグ 場所：八幡平市ラグビー場
本学 34-5 岩手ブレイズラガー

◆女子ラグビー部

・鹿児島国体予選
大会1日目
vs秋田県 前半：10-0 後半：21-0 結果：31-0 勝ち
vs宮城県 前半：7-0 後半：21-0 結果：28-0 勝ち
大会2日目
vs福島県 前半：7-12 後半：7-5 結果：14-17 負け
vs岩手県 前半：12-0 後半：12-0 結果：24-0 勝ち
・リージョナルセブンズ
大会1日目
vs Brave Louve 0-36 負け
vs横河アルテミスターズ 12-19 負け
大会2日目 (準々決勝)
vs Brave Louve 0-31 負け
vs 九州産業大学 (5位決定戦準決勝) 5-17 負け
vs神戸ファストジャイロ (7位決定戦) 43-5 勝ち
・関東セブンズ (5月大会)
vs RKUグレース 前半：19-0 後半：0-28 結果：19-28 負け
vs Brave Louve 前半：5-7 後半：0-5 結果：5-12 負け
vs湘南ベルマーレ 前半：14-0 後半：33-0 結果：47-0 勝ち
・関東セブンズ (6月大会)
vs日本体育大学 前半：0-21 後半：12-17 結果：12-38 負け
vs世田谷合同 前半：28-0 後半：31-0 結果：59-0 勝ち
vs横河アルテミスターズ 前半：5-19 後半：5-12 結果：10-31 負け

- ・太陽生命WWS2023入れ替え戦
大会1日目
vs RKUグレース 0 - 55 負け
vs九州産業大学 19 - 14 勝ち 2位通過
大会2日目
vs 横河アルテミススターズ 7 - 36 負け
vs 九州産業大学 0 - 40 負け
vs アザレアセブン 5 - 36 負け

◆スピードスケート部

- ・2023長根サマースピードスケート競技会（8/26～8/27）
女子3000m 上野恵理子 第2位
女子5000m 上野恵理子 第2位
近藤 杏菜 第3位
- ・2023みちのくスピードスケート競技会（9/23～9/24）
女子1500m 木村 咲映 第2位
女子3000m 木村 咲映 第3位
- ・2023長根オータムスピードスケート競技会（10/28～10/29）
女子1000m 金井 愛未 第2位
女子1500m 島 くるみ 第2位
木村 咲映 第3位
女子3000m 木村 咲映 第2位
- ・2023/2024全日本選抜スピードスケート競技会長野大会（11/17～11/19）
女子マススタートレース 近藤 杏菜 第2位
- ・2023/2024全日本選抜スピードスケート競技会盛岡大会（12/1～12/3）
女子マススタートレース 安田 彩夏 第2位
- ・第43回全日本学生スピードスケート距離別選手権大会（12/9～12/10）
女子1000m 金井 愛未 第2位
女子1500m 宮澤 茉那 第3位
女子3000m 近藤 杏菜 第2位
女子5000m 上野恵理子 第1位
近藤 杏菜 第2位
- ・2023/2024全日本選抜スピードスケート競技会富士吉田大会（12/16～12/17）
女子3000m 上野恵理子 第1位
近藤 杏菜 第3位
女子マススタートレース 近藤 杏菜 第2位
上野恵理子 第3位
- ・第53回東北スピードスケート選手権大会（12/23～12/24）
女子500m 金井 愛未 第1位
渡邊 咲良 第2位
原 ひより 第3位
女子1000m 金井 愛未 第1位
渡邊 咲良 第2位
原 ひより 第3位
女子1500m 木村 咲映 第1位
近藤 杏菜 第2位
女子3000m 近藤 杏菜 第1位
- ・第96回日本学生氷上競技選手権大会（1/5～1/7）
女子チームパシュートレース
島くるみ、上野恵理子、近藤杏菜 第3位

- ・2023/2024全日本選抜スピードスケート競技会渋川伊香保大会（2/10～2/11）
女子1000m 金井 愛未 第2位
女子3000m 上野恵理子 第1位
女子マススタートレース 近藤 杏菜 第3位
- ・第50回青森県選手権大会（2/17～2/18）
女子SP女子 総合 金井 愛未 第1位
渡邊 咲良 第3位
- ・Y S C U P 2024長根ファイナルスピードスケート競技会（3/2～3/3）
女子3000m 上野恵理子 第3位
女子500m

◆スケート部(フィギュア部門)

ウインターチャレンジカップ	安保	3位
	木村	1位
青森県選手権大会	安保	3位
	木村	1位
北日本大会	安保	5位
	木村	2位
八戸サマーカップ	安保	2位
青森国体予選	安保	2位
	木村	1位
東北学生選手権大会	安保	25位
	木村	5位

◆自転車競技部

- ・第63回東日本学生選手権トラック自転車競技大会
女子500mタイムトライアル 小原 乃亜 1位
女子スプリント 小原 乃亜 1位
- ・文部科学大臣杯第78回全日本大学対抗選手権自転車競技大会
女子スプリント 小原 乃亜 1位
女子500mTT 小原 乃亜 2位

◆弓道部

- ・五戸大会個人入賞
- ・県下春季大会個人入賞
- ・3部リーグ昇格

◆軽音楽部

- ・はちがくフェス（10/22）出演
- ・階上町主催のイベント参加

◆軟式野球部

- ・令和5年春季全日本大学軟式野球大会リーグ戦
本学 2 - 15 八戸工業大学
本学 0 - 10 秋田大学
本学 1 - 8 弘前大学
本学 8 - 5 連合チーム
本学 3 - 2 岩手大学
リーグ5位

◆障害者(児)共生サークル・アミューズ♪

- ・第1回フレンドパーク（5/13）
- ・第2回フレンドパーク（6/11）
- ・第3回フレンドパーク（7/11）

- ・第4回フレンドパーク（9/9）
- ・第5回フレンドパーク（10/14）
- ・第6回フレンドパーク（11/18）
- ・第7回フレンドパーク（12/16）
- ・第8回フレンドパーク（1/13）
- ・第9回フレンドパーク（2/3）

◆保健室サークル

- ・保健室だよりの作成
- ・健康教育に関する掲示物の作成
- ・教員採用試験の対策

◆Earth World

- ・約80枚のタオル帽子の作成（看護学科実習施設2病院へ寄付）

◆Be-labo

- ・施設紹介動画作成

◆BBS会

- ・市内高校生との「自然体験・交流塾」において、ボランティアとして参加
- ・更生保護司会に参加

◆八戸せんべい汁研究所サークル

- ・八戸せんべい汁研究所と八食オータムカーニバルに参加
- ・はちがくフェスの模擬店出店
- ・八戸せんべい汁研究所20周年セレモニーに参加

◆空手サークル

- ・野辺地西高校空手道部コーチとして、高校総体、東北大会に参加
- ・十和田、野辺地のコーチとして、県大会・東北大会に参加

[短大学生委員会]

・学生委員会

委員長 差波 直樹
副委員長 岩館亜沙美
委員 本吉 好 橋本 知子

・学生委員会庶務日誌摘録

第1回 令和5年4月14日(金)
第2回 令和5年5月15日(月)
第3回 令和5年6月12日(月)
第4回 令和5年7月10日(月)
第5回 令和5年9月11日(月)
第6回 令和5年10月10日(火)
第7回 令和5年11月13日(月)
第8回 令和5年12月11日(月)
第9回 令和6年1月9日(火)
第10回 令和6年2月19日(月)
第11回 令和6年3月11日(月)

①学生委員会学外会議

なし

②学生委員会学内行事

- ・2023年度定期健康診断
開催日：2023年4月5日(火)
場所：八戸西健診プラザ

受診者：195名

- ・2023年度第1回交通安全講習会（短大）
開催日：2023年4月5日(火)
場所：短大211講義室、短大111講義室
受講生：192名
- ・2023年度日本学生支援機構奨学金「在学採用新規申込説明会」
開催日：2023年4月10日(月)～13日(木)
場所：520講義室
- ・2023年度日本学生支援機構奨学金「予約採用説明会」
開催日：2023年4月14日(金)
場所：111講義室
- ・2023年度学生総会
開催日：2023年5月22日(月)
場所：メール開催
承認数：143名（学生会規約第12条により成立し、議決）
- ・令和5年度BBQ大会
開催日：2023年5月27日(土)
場所：美保野キャンパス
参加者：38名
- ・令和5年度ボウリング大会
開催日：2023年7月7日(金)
場所：ゆりの木ボウル
参加者：39名
- ・令和5年度夏のオールスター祭
開催日：2023年7月15日(土)
場所：八戸市公民館
参加者：約20名
- ・2023年度第2回交通安全講習会（短大）
開催日：2023年10月4日(火)
場所：幼児保育学科棟 211講義室
受講生：約190名
- ・2023年度薬物乱用および飲酒喫煙防止講演会（短大）
開催日：2023年10月18日(火)
場所：幼児保育学科棟 211講義室
受講生：約190名
- ・2023年度日本学生支援機構奨学金「返還説明会」
開催日：2023年11月16日(木)
場所：短大111講義室
対象者：2023年度貸与者（2年生：卒業予定者）
- ・令和5年度「はちがくフェス2023」
開催日：2023年10月21日(土)・10月22日(日)
場所：八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部 美保野キャンパス
参加者：約1,100名
- ・令和5年度クリスマス会
開催日：2023年12月1日(金)
場所：520講義室
対象者：約100名
- ・2023年度日本学生支援機構奨学金「継続説明会」
開催日：2023年12月7日(火)・12月9日(金)
場所：520講義室
対象者：2023年度貸与者（2年生除く）
- ・2023年度卒業パーティー
開催日：2023年3月18日(月)
場所：プラザホテル プラザホール
対象者：78名

- ・2024年度八戸学院大学短期大学部学生会役員選挙
 - 執行委員長 若宮 朱里 (介護福祉学科1年)
 - 副執行委員長 菅野さくら (介護福祉学科1年)
 - 齋藤つばめ (介護福祉学科1年)
 - 書記長 菅野さくら (介護福祉学科1年)
 - 書記 若宮 朱里 (介護福祉学科1年)

(10) 広報委員会

○オープンキャンパス

- ・夏のオープンキャンパス
 - 実施日 令和5年7月8日(土) (9:30~13:00)
 - 対象者 1・2・3年生
 - 内容 学科説明、体験授業、施設見学、個別相談、学食体験
- ・秋のオープンキャンパス
 - 実施日 令和5年9月2日(土) (9:30~13:00)
 - 対象者 1・2・3年生
 - 内容 学科説明、入試説明、小論文対策講座、施設見学、個別相談、学食体験
- ・春のオープンキャンパス
 - 実施日 令和6年3月9日(土) (9:30~13:00)
 - 対象者 1・2・3年生
 - 内容 学科説明、体験授業、施設見学、個別相談、学食体験

○説明会

<校内説明会>

- ・名久井農業高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
 - 実施日 令和5年6月7日(水)
 - 対象者 2年生
 - 出席者 介護福祉学科講師 鈴木 絵美
- ・弘前東高等学校 (さんぼう主催)
 - 実施日 令和5年6月20日(火)
 - 対象者 2年生
 - 出席者 舎監 渋谷帆香
- ・三沢高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
 - 実施日 令和5年6月21日(水)
 - 対象者 1・2年生
 - 出席者 人間健康学科講師 工藤 祐太郎
- ・十和田工業高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
 - 実施日 令和5年6月22日(木)
 - 対象者 3年生
 - 出席者 係長 三浦 康嵩
- ・千葉学園高等学校 (さんぼう主催)
 - 実施日 令和5年6月26日(月)
 - 対象者 2年生
 - 出席者 舎監 渋谷 帆香
- ・八戸学院光星高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
 - 実施日 令和4年6月27日(火)
 - 対象者 3年生
 - 出席者 課長補佐 山下 祐史
- ・八戸工業大学第一高等学校 (キッズコーポレーション主催)
 - 実施日 令和5年6月28日(水)
 - 対象者 3年生
 - 出席者 係長 玉川 哲也
 - 舎監 渋谷 帆香
- ・五所川原商業高等学校 (高校主催)
 - 実施日 令和5年6月28日(水)

- 対象者 1・2・3年生
- 出席者 主事 白井 大介
- ・八戸学院野辺地西高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
 - 実施日 令和5年7月4日(火)
 - 対象者 3年生
 - 出席者 課長補佐 山下 祐史
- ・弘前東高等学校 (キッズコーポレーション主催)
 - 実施日 令和5年7月4日(火)
 - 対象者 3年生
 - 出席者 係長 玉川 哲也
- ・八戸西高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
 - 実施日 令和5年7月5日(水)
 - 対象者 1年生
 - 出席者 課長 納谷 司
- ・八戸学院光星高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
 - 実施日 令和5年7月11日(火)
 - 対象者 2年生
 - 出席者 地域経営学科講師 井上 丹
 - 看護学科教授 田中 克枝
 - 幼児保育学科講師 本吉 好
- ・八戸商業高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
 - 実施日 令和5年7月12日(水)
 - 対象者 3年生
 - 出席者 舎監 渋谷 帆香
- ・八戸西高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
 - 実施日 令和5年8月10日(水)
 - 対象者 3年生
 - 出席者 課長 納谷 司
- ・八戸学院野辺地西高等学校 (さんぼう主催)
 - 実施日 令和5年9月12日(火)
 - 対象者 2年生
 - 出席者 地域経営学科学科長 高須 則行
 - 介護福祉学科教授 小川あゆみ
- ・尾上総合高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
 - 実施日 令和5年9月12日(火)
 - 対象者 1・2年生
 - 出席者 幼児保育学科講師 本吉 好
- ・八戸工業大学第一高等学校 (キッズコーポレーション主催)
 - 実施日 令和5年9月13日(水)
 - 対象者 1年生
 - 出席者 看護学科教授 樋口日出子
 - 介護福祉学科講師 鈴木 絵美
- ・聖霊女子短期大学付属高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
 - 実施日 令和5年9月13日(水)
 - 対象者 2年生
 - 出席者 人間健康学科講師 宮澤 君子
- ・八戸工業高等学校 (さんぼう主催)
 - 実施日 令和5年9月20日(水)
 - 対象者 2年生
 - 出席者 係長 三浦 康嵩
 - 舎監 渋谷 帆香
- ・青森中央高等学校 (キッズコーポレーション主催)
 - 実施日 令和5年10月17日(火)
 - 対象者 1年生
 - 出席者 舎監 渋谷 帆香
- ・八戸中央高等学校 (昭栄広報主催)

- 実施日 令和5年10月17日(火)
対象者 2年生
出席者 地域経営学科講師 井上 丹
看護学科教授 樋口日出子
- ・八戸学院野辺地西高等学校 (さんぼう主催)
実施日 令和5年10月24日(火)
対象者 1年生
出席者 人間健康学科講師 工藤祐太郎
幼児保育学科講師 本吉 好
 - ・青森中央高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
実施日 令和5年11月2日(木)
対象者 1年生
出席者 人間健康学科教授 浜中のり子
 - ・八戸学院野辺地西高等学校 (さんぼう主催)
実施日 令和5年11月7日(火)
対象者 1年生
出席者 地域経営学科教授 田村 正文
 - ・八戸学院光星高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
実施日 令和5年11月14日(火)
対象者 1年生
出席者 看護学科講師 久保 宣子
幼児保育学科教授 差波 直樹
 - ・三沢商業高等学校 (さんぼう主催)
実施日 令和5年11月14日(火)
対象者 1年生
出席者 幼児保育学科教授 野口 和也
 - ・百石高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
実施日 令和5年11月15日(水)
対象者 2年生
出席者 看護学科講師 久保 宣子
 - ・横手清陵学院高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
実施日 令和5年11月16日(木)
対象者 2年生
出席者 人間健康学科講師 大木えりか
 - ・八戸聖ウルスラ学院高等学校 (キッズコーポレーション主催)
実施日 令和5年11月27日(月)
対象者 1年生
出席者 看護学科教授 樋口日出子
 - ・三本木農業恵沢高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
実施日 令和5年12月6日(水)
対象者 2年生
出席者 介護福祉学科教授 小川あゆみ
 - ・千葉学園高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
実施日 令和5年12月7日(木)
対象者 2年生
出席者 幼児保育学科講師 本吉 好
 - ・八戸工業大学第一高等学校 (キッズコーポレーション主催)
実施日 令和5年12月13日(水)
対象者 2年生
出席者 看護学科助教 堺 香奈子
介護福祉学科講師 鈴木 絵美
 - ・金足農業高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
実施日 令和5年12月13日(水)
対象者 2年生
出席者 人間健康学科講師 大木 えりか
 - ・八戸西高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
- 実施日 令和5年12月14日(木)
対象者 2年生
出席者 介護福祉学科教授 小川 あゆみ
- ・大館桂桜高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
実施日 令和5年12月14日(木)
対象者 2年生
出席者 地域経営学科講師 横田 将志
 - ・千葉学園高等学校 (さんぼう主催)
実施日 令和5年12月15日(金)
対象者 2年生
出席者 舎監 渋谷 帆香
 - ・五所川原第一高等学校 (ヘキサ主催)
実施日 令和5年12月15日(金)
対象者 1年生
出席者 介護福祉学科教授 小川あゆみ
 - ・八戸西高等学校 (さんぼう主催)
実施日 令和5年12月19日(火)
対象者 1・2年生
出席者 舎監 渋谷 帆香
 - ・七戸高等学校 (ヘキサ主催)
実施日 令和5年1月10日(火)
対象者 1・2年生
出席者 地域経営学科学部長 村本 卓
幼児保育学科准教授 中嶋 栄子
 - ・八戸学院野辺地西高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
実施日 令和5年1月16日(月)
対象者 2年生
出席者 幼児保育学科講師 本吉 好
介護福祉学科教授 小川あゆみ
 - ・向陵高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
実施日 令和5年1月17日(火)
対象者 1年生
出席者 幼児保育学科教授 差波 直樹
 - ・名久井農業高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
実施日 令和5年1月31日(火)
対象者 1・2年生
出席者 幼児保育学科教授 差波 直樹
 - ・八戸商業高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
実施日 令和5年2月7日(火)
対象者 1年生
出席者 看護学科教授 木村 緑
幼児保育学科准教授 中嶋 栄子
 - ・八戸工業大学第一高等学校 (ライセンスアカデミー主催)
実施日 令和5年2月14日(火)
対象者 1・2年生
出席者 人間健康学科講師 有光 琢磨
 - ・弘前実業高等学校 (キッズコーポレーション主催)
実施日 令和5年3月11日(月)
対象者 1年生
出席者 地域経営学科学科長 高須 則行
 - ・五所川原第一高等学校 (ヘキサ主催)
実施日 令和5年3月14日(水)
対象者 1年生
出席者 地域経営学科講師 井上 丹
 - ・八戸聖ウルスラ学院高等学校 (キッズコーポレーション主催)
実施日 令和5年3月15日(金)

対象者 2年生

出席者 地域経営学科学科長 高須 則行

看護学科助教 堺 香奈子

※その他、各地ホテルで行なわれた業者主催進学相談会には、18回出席。

○庶務日誌摘録

令和5年 4月12日(水) 5月10日(水) 6月7日(水)

7月5日(水) 9月6日(水) 10月4日(水)

11月8日(水) 12月6日(水)

令和6年 2月7日(水) 3月6日(水)

(11) 入学試験運営委員会

・2024年度入学試験

令和5年

10月14日(土) 大学、短大：総合型選抜（資格特待含む）
A日程

11月18日(土) 大学、短大：学校推薦型選抜

12月16日(土) 大学、短大：総合型選抜（資格特待含む）
B日程

大学：編入・転入学選抜Ⅰ期

別科助産専攻：別科助産専攻選抜

短大：社会人選抜Ⅰ期

令和6年

2月8日(水) 大学、短大：一般選抜Ⅰ期、大学入学共通
テスト試験成績利用選抜A日程

2月22日(水) 大学、短大：総合型選抜（資格特待含む）
C日程

大学入学共通テスト試験成績利用選抜B日程

大学：編入・転入学選抜Ⅱ期

3月8日(金) 大学：一般選抜Ⅱ期

大学、短大：大学入学共通テスト試験成
績利用選抜C日程

○庶務日誌摘録

・入学試験運営委員会

令和5年 4月11日(火) 5月9日(火) 6月13日(火)

7月11日(火)

9月12日(火) 10月10日(火) 11月14日(火)

12月12日(火)

令和6年 1月15日(月) 2月6日(火) 3月5日(火)

(12) 大学入学共通テスト実施委員会

①学外会議

・大学入学共通テスト地区別連絡会議

日 時：令和5年7月10日(月)

会 場：弘前大学

出席者：村本 景

②その他

・令和6年度大学入学共通テストの実施

令和6年度大学入学共通テストは、令和6年1月13日(土)・
14日(日)2日間で実施された。

③庶務日誌摘録

・大学入学共通テスト実施委員会

令和5年 10月10日(火) 11月14日(火) 12月8日(金)

12月18日(月) (監督者説明会) 12月22日(金)

令和6年 1月9日(火) 2月6日(火)

(13) 就職支援委員会

[大学]

①学外会議

・東北地区私立大学就職問題協議会

日 時：令和5年6月22日(水)～6月23日(金)

会 場：山形国際ホテル

出席者：キャリア支援課 係長 小川 啓示

・北東北三県私立大学就職支援研究会

日 時：令和5年9月8日(月) 11：00～17：00

会 場：ダイワロイネットホテル盛岡駅前 2階会議室

出席者：キャリア支援課 課長 納谷司、係長 小川啓示

②就職ガイダンス・説明会の実施状況

【就職セミナー】

講座名：就活！スタートアップガイダンス

講 師：株式会社マイナビ 鶴宮一輝 氏

日 時：令和5年5月25日(水) 12：50～14：20

参加者：12名（地域経営学科・人間健康学科）

講座名：インターンシップ準備講座

講 師：株式会社リクルート 前田聡美 氏

日 時：令和5年6月7日(水) 14：30～16：00

参加者：8名（地域経営学科・人間健康学科）

講座名：看護学科キャリア支援講座（就活スタートア
ップ講座）

日 時：令和5年6月7日(水) 14：30～16：00

講 師：株式会社マイナビ 草刈惟那 氏

参加者：59名（看護学科）

講座名：業界研究セミナー

講 師：株式会社ディスコ 大葉沙紀 氏

日 時：令和5年7月6日(水) 12：50～14：20

参加者：20名（地域経営学科・人間健康学科）

講座名：自己分析講座

講 師：株式会社リクルート 前田聡美 氏

日 時：令和5年9月21日(水)12：50～14：20

参加者：4名（地域経営学科・人間健康学科）

講座名：後期就活スタートアップ講座

講 師：株式会社マイナビ 鶴宮一輝 氏

日 時：令和5年10月12日(水) 12：50～14：20

参加者：5名（地域経営学科・人間健康学科）

講座名：病院選定マスター講座

講 師：株式会社マイナビ 草刈惟那 氏

日 時：令和5年8月4日（10：00～12：00）

参加者：48名（看護学科）

講座名：看護学科マスター講座

講 師：株式会社マイナビ 草刈惟那 氏

日 時：令和6年3月28日（12：50～16：00）

参加者：50名（看護学科）

【就職説明会】

名 称：青森県主催合同企業説明会

日 時：令和5年8月3日(水)

会場：八戸学院大学5号館1階学生食堂
企業数：24社
参加者：40名

名称：青森県主催合同企業説明会
日時：令和5年12月1日(金)
会場：八戸学院大学5号館1階学生食堂
企業数：30社
参加者：16名

名称：看護学科対象就職説明会
日時：令和5年12月2日(土)
会場：八戸学院大学8号館3階各講義室
企業数：20社
参加者：62名

③課外講座開催状況

・看護学科論文講座

講師：株式会社 結
日時：令和5年4月15日(土) 10:00~11:30
4月22日(土) 10:00~11:30
5月13日(土) 13:00~14:30

・公務員採用試験対策講座

講師：特定非営利活動法人ミルトス塾
日時：令和5年5月22日(月)16:10~17:40
5月24日(水) ♪
5月26日(金) ♪
5月29日(月) ♪
5月31日(水) ♪
6月2日(金) ♪
6月5日(月) ♪
6月7日(水) ♪
6月9日(金) ♪
6月12日(月) ♪

・教員採用試験対策講座

講師：特定非営利活動法人ミルトス塾
日時：令和5年5月24日(水)16:10~17:40
5月26日(金) ♪
5月31日(水) ♪
6月2日(金) ♪
6月7日(水) ♪
6月9日(金) ♪
6月14日(水) ♪
6月16日(金) ♪
6月21日(水) ♪
6月23日(金) ♪

・社会福祉士国家試験対策講座（オンライン）

講師：武山梅乗氏
日時：令和5年12月13日(水)12:50~16:00
12月20日(水)12:50~17:40
12月21日(木)8:50~12:00

・医療事務対策講座

講師：村口高志氏

日時：令和5年11月23日(木)9:00~14:40

12月2日(土) ♪
12月17日(日) ♪
12月23日(土) ♪
1月20日(土) ♪
1月27日(土) ♪
2月3日(土) ♪
2月10日(土) ♪
2月11日(日) ♪
2月17日(土) ♪
2月23日(金) ♪
2月24日(土) ♪

④その他

・看護学科卒業生講話

日時：令和5年8月4日(金)
講師：高橋楓氏、小田原希美氏、佐々木峻太氏

・看護学科マナー講座

日時：令和5年9月8日(金)
講師：八戸市立市民病院 看護局長 呑香美佳子氏

⑤庶務日誌摘録

令和5年 4月11日(火) 5月9日(火) 6月13日(火)
7月11日(火) 9月12日(火) 10月10日(火)
11月14日(火) 12月12日(火)
令和6年 2月13日(火) 3月12日(火)

〔短期大学部〕

①学外会議

・東北地区私立短期大学就職指導研究会オンライン会議

日時：令和5年9月20日(水) 10:00~12:50
資料提供のみ

②就職ガイダンス・説明会の実施状況

・就職ガイダンス（オンライン）

日時：令和5年6月14日(水) 8:50~10:20
講師：ひまわり乳児院、株式会社アイグラン、ジョイフルポップ

③その他

・幼児保育学科マナー講座

日時：令和5年5月31日(水)
講師：株式会社コナカ、株式会社ポーラ

・園長講話

日時：令和5年11月22日(水) 12:50~14:20
講師：八戸学院幼稚園副園長 高橋昌樹氏

・幼児保育学科卒業生との懇談会

日時：令和5年12月6日(水) 10:00~11:40
講師：八戸学院第二しのめ幼稚園 橋本妃菜子氏
洋野町立八木こども園 小野有紀氏
児童養護施設あけぼの学園 小向茉結氏

・介護福祉学科卒業生との懇談会

日時：令和6年2月26日(月)14:30~16:00
講師：介護老人保健施設しもだ 孫秀霖氏
特別養護老人ホームほっとハウス 船田すず氏
多機能介護センター妙水苑 松浦由依氏
障害者支援施設けやき寮 田嶋美玖氏

④庶務日誌摘録

令和5年 4月18日(火) 5月16日(火) 6月20日(火)
7月18日(火) 9月19日(火) 10月17日(火)

11月21日(火) 12月13日(木)
令和6年 2月13日(火)、3月12日(火)

(14) 国際交流・留学生支援委員会

委員長 柴垣 博孝
副委員長 三浦 文恵 横田 将志
委員 B.グロスマン G.アンソニー
崔 桓碩 楊 麗栄 渡邊 陵由
遠藤 光男 壬生 寿子 久保 宣子
坂本利枝子 中村 蘭

・国際交流支援委員会庶務日誌摘録

第1回 令和5年4月17日(月)
第2回 令和5年5月15日(月)
第3回 令和5年6月12日(月)
第4回 令和5年7月10日(月)
第5回 令和5年9月19日(火)
第6回 令和5年10月16日(月)
第7回 令和5年11月13日(月)
第8回 令和5年12月11日(月)
第9回 令和6年1月16日(火)
第10回 令和6年2月13日(火)
第11回 令和6年3月13日(月)

①国際交流支援委員会学外会議 なし

②国際交流支援委員会行事

- ・海外研修説明会
開催日：2023年4月4日(火)
場所：520講義室、330講義室、832講義室
833教室、211講義室(短大)
- ・八戸国際交流協会通常総会
開催日：2023年6月29日(木)
場所：YSアリーナ八戸1階大会議室
- ・TOEIC試験
<春学期>
開催日：2023年7月21日(金)
受験者：11名(大学11名)
場所：8号館831講義室
<秋学期>
開催日：2024年1月19日(金)
受験者：6名(大学6名)
場所：8号館833講義室
- ・第1回あおもりグローバル人財養成セミナー(あおもり
グローバルアカデミー)実行委員会
開催日：2023年5月26日(金)
場所：三沢国際交流教育センター
参加者：三浦文恵、G.アンソニー
- ・南部町さくらんぼ狩りツアー&国際交流会
開催日：2023年6月25日(日)
場所：南部町国際交流センター、蹴揚農園
参加者：留学生6名、三浦文恵、楊麗栄、中村蘭
- ・あおもりグローバル人財ネットワーク交流会
開催日：2023年9月16日(土)
場所：青森県民福祉プラザ
参加者：三浦文恵(コーディネーター)
- ・はちのへ国際交流フェスタin マチニワ
開催日：2023年9月17日(日)
場所：マチニワ、八戸市内各所(スタンプラリー)

参加者：短大生3(うち留学生2)名、三浦文恵

- ・あおもりグローバルアカデミー(第1回)
開催日：2023年10月28日(土)~2023年10月29日(日)
場所：三沢国際交流教育センター
参加者：三浦文恵、G.アンソニー
学生1名(地域経営1名)
- ・あおもりグローバルアカデミー(第2回)
開催日：2023年11月18日(土)~2023年11月19日(日)
場所：三沢国際交流教育センター
参加者：三浦文恵、G.アンソニー
- ・あおもりグローバルアカデミー(第3回)
開催日：2023年12月9日(土)~2023年12月10日(日)
場所：三沢国際交流教育センター
参加者：三浦文恵、G.アンソニー
- ・あおもり鍋じまん
開催日：2023年11月19日(日)
場所：南部町役場前広場
参加者：留学生2名、三浦文恵
- ・JICA青年海外協力隊説明会
開催日：2023年11月23日(木・祝)
場所：八戸ポータルミュージアムはっち
参加者：三浦文恵
- ・令和5年度在三沢米軍施設・区域内大学就学候補者選考
委員会及び面接試験
開催日：2024年1月20日(土)
場所：三沢国際交流教育センター
参加者：三浦文恵
- ・世界文化体験デー
開催日：2024年2月9日(金)
場所：8号館2階調理室
参加者：学生6名(大学4名・短大2名)、楊麗栄、中
村蘭
- ・第2回あおもりグローバル人財養成セミナー(あおもり
グローバルアカデミー)実行委員会
開催日：2024年2月22日(木)
場所：三沢国際交流教育センター
参加者：三浦文恵
- ・ハラル(イスラム認証)異文化交流会
開催日：2024年2月22日(木)
場所：南部町Café&smoke南部どき
参加者：留学生4名
- ・令和5年度在三沢米軍施設・区域内大学就学者激励会
開催日：2024年3月17日(日)
場所：三沢国際交流教育センター
参加者：三浦文恵
- ・西安外国語大学(中国)とのオンライン交流会
開催日：2023年6月27日(火)
場所：8号館3階833講義室
参加者：本学48名
- ・広西城市職業大学(中国)とのオンライン交流会
開催日：2023年12月6日(木)
場所：2号館2階教室
参加者：本学50名
- ・マヒドン大学(タイ)とのオンライン交流会
開催日：2023年11月16日(木)
場所：321
参加者：横田ゼミ6名

- ・シアトル海外語学研修への参加
研修地：アメリカ合衆国ワシントン州シアトル
備考：該当者なし
- ・チェンマイ海外語学研修への参加
研修地：タイ王国チェンマイ
参加者：本学生3名
バリー・グロスマン（国際交流・留学生支援委員）
- ・EF海外語学研修への参加
研修地：各国
備考：該当者なし

(15) 図書委員会

①学外会議

1. 令和5年度青森県高等教育機関図書館協議会総会
開催日：令和5年7月25日(火)
場所：オンライン
2. 令和5年度青森県高等教育機関図書館協議会研修会
開催日：令和5年12月14日(木)
場所：オンライン

②休・閉館について

- 令和5年8月7日(月)～8月16日(水) 夏季休業等
- 令和5年10月23日(月) 創立記念日振替休日
- 令和5年12月26日(火)～令和6年1月4日(木) 年末年始休業
- 令和6年1月11日(木)～1月12日(金) 大学入学共通テスト
- 令和6年3月18日(月) 学位記授与式

③『八戸学院大学紀要』『八戸学院大学短期大学部紀要』の内容一覧

(1)『八戸学院大学紀要第67号』(2023年12月26日発行)

◇井上丹

- ・大学の構想とSDGsの理念に基づいた教育研究推進事業報告

◇堺香奈子, 坂本保子, 箒さと子, 前森桃子, 藤邊祐子

- ・沐浴実施のルーブリック評価表の作成過程と課題

◇坂本保子, 箒さと子, 堺香奈子

- ・母性看護学実習におけるルーブリック評価表を用いた学習効果－実習前後の比較－

◇箒さと子, 坂本保子

- ・産後うつ病に対する妊娠期からの予防的介入と効果に関する文献検討

◇古舘美喜子, 西村美八

- ・若年生活習慣病予防健診における保健師の活動の評価と課題

(2)『八戸学院大学紀要第68号』(2024年3月31日発行)

◇奈良卓

- ・社会資本が経済成長と土地利用に及ぼす影響－二地域動学モデルへの拡張－

◇横田将志

- ・地域形成に関するサブリージョンからマイクロリージョンへのクロスレベル効果－タイとラオスの国境地帯を事例として－

◇佐藤千恵子

- ・青森県におけるこども食堂を通じた「居場所づくり」の取り組み

◇泉水朝宏, 有光琢磨

- ・自転車競技タイムトライアルを想定したスタート局面における各種要因の検討

◇立石真司

- ・知的障害者の意思決定支援における支援者がとらえる実践上の課題

◇久保宣子, 楊麗榮, 柴垣博孝

- ・中国の大学とオンライン交流会を経験した学生の学びの成果－テキストマイニングによる分析－

◇三浦広美, 木村緑

- ・身体合併症看護における精神科看護師の困難感に関する文献検討

◇市川裕美子, 坂本弘子, 西川健, 足澤ちか子

- ・A県内のがん疼痛への看護ケアの実践状況

◇壬生寿子

- ・改正カリキュラムにおける「地域・在宅看護論」に対応した教育プログラムの取り組み

◇坂本保子, 箒さと子

- ・青森県の高校生・大学生のヤングケアラー実態と課題－青森県調査報告書から－

(3)『八戸学院大学短期大学部研究紀要第57巻』(2023年12月26日発行)

◇差波直樹

- ・幼児期の終わりの子供の姿と、その育ちを共有する

◇中嶋栄子, 附田勢津子, 澤井睦美, 池田拓馬, 本吉好, 橋本知子, 坂本利枝子, 松坂真奈美

- ・保育者養成課程における幼児との総合表現の実践－表現に関わる教科と保育現場の連携に視点をあてて－

◇本吉好, 益川満治, 渡邊陵由

- ・幼児期における3年間の体力・運動能力の変化について

◇加藤康子

- ・「クッキングセット」を使った調理操作の工夫－簡単・ヘルシー・おいしいおやつ－

(4)『八戸学院大学短期大学部研究紀要第58巻』(2024年3月31日発行)

◇加藤康子

- ・日常食を彩り豊かに楽しくつくる－親子クッキングの工夫－

◇池田拓馬

- ・「H∞L Galleryの運営と有効活用 についての報告」－学内における学生の作品展示とアーティストを招聘したワークショップの開催について－

◇高橋英成, 吉田守実

- ・自然災害に備えた地域体制づくりの課題について－専門職後見人である社会福祉士の視点から－

◇三浦文恵

- ・絵本を活用した福祉ボランティア活動報告

④その他(イベント等)

1. 第5回八戸学院図書館ビブリオバトル
開催日 令和5年7月14日(金)
会場 図書館1階閲覧室
2. 第2回八戸工業大学・八戸学院大学ビブリオバトル交流会
開催日 令和5年10月7日(土)
会場 八戸工業大学
3. 第4回ブックハンティング
開催日 令和5年10月23日(月)
場所 八戸ブックセンター

4. 八戸学院図書館・八戸工業大学図書館 読書週間合同
企画 図書交換2023
開催期間 令和5年10月30日(月)～11月30日(木)
会 場 八戸学院図書館及び八戸工業大学図書館・
閲覧室
5. テーマ展示
3.11 東日本大震災特集『キロクをキオクに』
本屋大賞特集
手記特集
未来志向の本
美味しいもの特集
ブックハンティング選書本展示
- ⑤庶務日誌摘録
・図書委員会
令和5年4月25日(火)
令和5年9月19日(火)
令和6年2月1日(木)

(16) 地域連携研究センター

1. 産業文化研究第33号 (2024年3月31日発行)
- 原著論文
 - ◇楊 麗栄・久保 宣子
『共生社会における医療現場での外国人の異文化体験の様相と課題』
 - 研究ノートおよび研究資料
 - ◇井上 丹
『持続可能な観光地域経営のための中間支援活動の成果と考察』
 - 報告書
 - ◇バリー・グロスマン
『地域のためのSDGs、新聞エッセイシリーズ』
2. 受託研究・受託事業
- 受託名：八戸市都市研究検討会事務局業務
委託者：八戸市(総合政策部政策推進課政策推進グループ)
 - 受託名：大学資産を活用したアートの学び事業業務委託
委託者：八戸市(八戸市美術館)
 - 受託名：あおもり共創ビジネスプログラム実施業務(八戸地区)
委託者：青森県(商工労働部新産業創造課)
3. 課外講座等開催状況
- 講座名：ERASMUSプロジェクトONLINE講座
「家庭科をEUの初等教育に導入するための試験的計画～最終報告会～」
開催日：令和5年6月14日(木)
会 場：オンライン
講 師：加藤 康子(八戸学院地域連携研究センター副センター長)
川守田景子(八戸学院地域連携研究センター講師)
主 催：八戸学院地域連携研究センター
 - 講座名：アントレプレナーシップセミナー
「起業支援セミナー1：デザイン思考」
開催日：令和5年6月22日(木)
会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなカラボ
講 師：川守田 景子(八戸学院地域連携研究センター講師)

- 主 催：八戸学院地域連携研究センター
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
美術館のアクセシビリティ向上事業
「託児ルーム」
開催日：令和5年6月25日(日)
会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなカラボ
講 師：加藤 康子(八戸学院地域連携研究センター副センター長)
主 催：八戸学院地域連携研究センター
(八戸市美術館委託事業)
- 講座名：アントレプレナーシップセミナー
「起業支援セミナー2：アイデア創造プロセス」
開催日：令和5年7月20日(木)
会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなカラボ
講 師：川守田 景子(八戸学院地域連携研究センター講師)
主 催：八戸学院地域連携研究センター
(八戸市美術館委託事業)
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
美術館のアクセシビリティ向上事業
「託児ルーム」
開催日：令和5年7月30日(日)
会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなカラボ
講 師：加藤 康子(八戸学院地域連携研究センター副センター長)
主 催：八戸学院地域連携研究センター
(八戸市美術館委託事業)
- 講座名：アントレプレナーシップセミナー
「Entrepreneurial Activities」
開催日：令和5年8月21日(月)
会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなカラボ
講 師：川守田 景子(八戸学院地域連携研究センター講師)
主 催：八戸学院地域連携研究センター
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
美術館のアクセシビリティ向上事業
「託児ルーム」
開催日：令和5年8月27日(日)
会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなカラボ
講 師：加藤 康子(八戸学院地域連携研究センター副センター長)
主 催：八戸学院地域連携研究センター
(八戸市美術館委託事業)
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
学生×社会人のアートの学び実践講座
「世界に学ぶウェルビーイングとアート」第1回「国の紹介と地球環境を守る取り組みについて」
開催日：令和5年9月16日(水・祝日)
会 場：八戸市美術館 ワークショップルーム
講 師：クルシャット デミリュレク 氏
(オンドクズ・マイス大学農学部農業経済学科 教授)
ソナー チェリク 氏(オンドクズ・マイス大学 講師)
川守田 景子(八戸学院地域連携研究センター講師)
主 催：八戸学院地域連携研究センター

- (八戸市美術館委託事業)
- あおもり共創プログラム実施業務 (八戸地区)
「東奥電気：第1回ワークショップ」
開催日：令和5年9月21日(休)
会場：八戸学院大学3号館330講義室
主催：八戸学院地域連携研究センター
(青森県委託事業)
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
美術館のアクセシビリティ向上事業
「託児ルーム」
開催日：令和5年9月24日(日)
会場：八戸市美術館 八戸学院まちなカラボ
講師：加藤 康子 (八戸学院地域連携研究センター
副センター長)
主催：八戸学院地域連携研究センター
(八戸市美術館委託事業)
- あおもり共創プログラム実施業務 (八戸地区)
「東奥電気：第2回ワークショップ」
開催日：令和5年10月12日(休)
会場：八戸学院大学2号館211講義室
主催：八戸学院地域連携研究センター
(青森県委託事業)
- あおもり共創プログラム実施業務 (八戸地区)
「中ペン塗装：第1回ワークショップ」
開催日：令和5年10月19日(休)
会場：八戸学院大学3号館330講義室
主催：八戸学院地域連携研究センター
(青森県委託事業)
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
三校連携創作体験ワークショップ
「認知症世界の歩き方～認知症の方が生きて
いる世界を旅してみよう～」
開催日：令和5年10月29日(日)
会場：八戸市美術館 ワークショップルーム
講師：岩館 亜沙美 (八戸学院大学短期大学部 介
護福祉学科 講師)
主催：八戸学院地域連携研究センター
(八戸市美術館委託事業)
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
美術館のアクセシビリティ向上事業
「託児ルーム」
開催日：令和5年10月29日(日)
会場：八戸市美術館 八戸学院まちなカラボ
講師：加藤 康子 (八戸学院地域連携研究センター
副センター長)
主催：八戸学院地域連携研究センター
(八戸市美術館委託事業)
- あおもり共創プログラム実施業務 (八戸地区)
「東奥電気：第3回ワークショップ」
開催日：令和5年11月2日(休)
会場：八戸学院大学2号館211講義室
主催：八戸学院地域連携研究センター
(青森県委託事業)
- あおもり共創プログラム実施業務 (八戸地区)
「中ペン塗装：第2回ワークショップ」
開催日：令和5年11月2日(休)
会場：八戸学院大学2号館211講義室
- 主催：八戸学院地域連携研究センター
(青森県委託事業)
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
三校連携創作体験ワークショップ
「ダンボール工作でオリジナルの人形とブ
ロックを作って遊ぼう！」
開催日：令和5年11月4日(土)
会場：八戸市美術館 スタジオ
講師：鈴木 康弘 (八戸学院大学短期大学部 幼児
保育学科 講師)
主催：八戸学院地域連携研究センター
(八戸市美術館委託事業)
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
学生×社会人のアートの学び実践講座
「世界に学ぶウェルビーイングとアート」第
2回「伝統文化とアート“和菓子”をつくら
う！」
開催日：令和5年11月5日(日)
会場：八戸市美術館 スタジオ
講師：戸田 和博氏 (戸田菓子舗3代目店主)
川守田 景子 (八戸学院地域連携研究センター
講師)
主催：八戸学院地域連携研究センター
(八戸市美術館委託事業)
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
美術館のアクセシビリティ向上事業
「ベビーファーストデー」
開催日：令和5年11月7日(火)
会場：八戸市美術館
講師：加藤 康子 (八戸学院地域連携研究センター
副センター長)
金田一 春香 (八戸学院地域連携研究センター
事務室長)
主催：八戸学院地域連携研究センター
(八戸市美術館委託事業)
- 講座名：第10回防災士養成講座
開催日：令和5年11月11日(土)12日(日)
会場：八戸学院大学 5号館
講師：館合 裕之氏 (青森県防災士協会八戸支部)
今 明秀氏 (八戸市立病院 医師)
小山内 世喜子氏 (男女共同参画地域みらい
ねっと 代表)
吉田 守実 (八戸学院大学 健康医療学部
人間健康学科 教授)
鳴海 孝彦 (八戸学院大学短期大学部 介護
福祉学科 准教授)
中村 智行氏 (青森中央学院大学 経営法学
部 准教授)
石橋 健治氏 (八戸市 危機管理部 災害対
策課 主査)
井上 丹 (八戸学院大学 地域経営学部 地
域経営学科 講師)
主催：八戸学院地域連携研究センター
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
三校連携創作体験ワークショップ
「ブリリアント・ミネラル」
開催日：令和5年11月19日(日)

- 会 場：八戸市美術館 ワークショップルーム
 講 師：土屋 範芳 氏（八戸工業高等専門学校 校長）
 主 催：八戸学院地域連携研究センター
 （八戸市美術館委託事業）
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
 三校連携創作体験ワークショップ
 「英語で手作りクリスマスクラフト」
 開催日：令和5年11月23日（木・祝）
 会 場：八戸市美術館 ワークショップルーム
 講 師：グレゴリー・アンソニー（八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科 教授）
 主 催：八戸学院地域連携研究センター
 （八戸市美術館委託事業）
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
 三校連携創作体験ワークショップ
 「僕の私の小さな家づくり」
 開催日：令和5年11月26日(日)
 会 場：八戸市美術館 ジャイアントルーム
 講 師：福士 讓 氏（八戸工業大学 工学部工学科 准教授）
 主 催：八戸学院地域連携研究センター
 （八戸市美術館委託事業）
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
 美術館のアクセシビリティ向上事業
 「託児ルーム」
 開催日：令和5年11月26日(日)
 会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなカラボ
 講 師：加藤 康子（八戸学院地域連携研究センター 副センター長）
 主 催：八戸学院地域連携研究センター
 （八戸市美術館委託事業）
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
 美術館のアクセシビリティ向上事業
 「ベビーファーストデー」
 開催日：令和5年11月28日(火)
 会 場：八戸市美術館
 講 師：加藤 康子（八戸学院地域連携研究センター 副センター長）
 金田一 春香（八戸学院地域連携研究センター 事務室長）
 主 催：八戸学院地域連携研究センター
 （八戸市美術館委託事業）
- あおり共創プログラム実施業務（八戸地区）
 「中ペン塗装：第3回ワークショップ」
 開催日：令和5年11月30日(休)
 会 場：八戸学院大学2号館211講義室
 主 催：八戸学院地域連携研究センター
 （青森県委託事業）
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
 美術館のアクセシビリティ向上事業
 「託児ルーム」
 開催日：令和5年12月10日(日)
 会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなカラボ
 講 師：加藤 康子（八戸学院地域連携研究センター 副センター長）
 主 催：八戸学院地域連携研究センター（八戸市美術
- 館委託事業）
- あおり共創プログラム実施業務（八戸地区）
 「東奥電気：第4回ワークショップ」
 開催日：令和5年12月14日(休)
 会 場：八戸学院大学2号館211講義室
 主 催：八戸学院地域連携研究センター
 （青森県委託事業）
- あおり共創プログラム実施業務（八戸地区）
 「中ペン塗装：第4回ワークショップ」
 開催日：令和5年12月14日(休)
 会 場：八戸学院大学2号館211講義室
 主 催：八戸学院地域連携研究センター
 （青森県委託事業）
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
 学生×社会人のアートの学び実践講座
 「世界に学ぶウェルビーイングとアート」第3回「～地域と世界をつなぐ・サステナブルな未来へ～」
 開催日：令和6年1月19日(金)
 会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなカラボ
 講 師：オレナ メルニク氏（スミイ国立農業大学教授、英王立農業大学名誉教授）
 ヤシャー サラムザデ氏（サンダーランド大学 ビジネス・マネジメント学部 教授）
 堤 静子（八戸学院地域連携研究センター センター長、八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科 教授）
 川守田 景子（八戸学院地域連携研究センター 講師）
 主 催：八戸学院地域連携研究センター
 （八戸市美術館委託事業）
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
 美術館のアクセシビリティ向上事業
 「託児ルーム」
 開催日：令和6年1月21日(日)
 会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなカラボ
 講 師：加藤 康子（八戸学院地域連携研究センター 副センター長）
 主 催：八戸学院地域連携研究センター（八戸市美術館委託事業）
- あおり共創プログラム実施業務
 「成果報告会」
 開催日：令和6年2月20日(火)
 会 場：ウエディングプラザアラスカ（青森市）
 主 催：八戸学院地域連携研究センター
 （青森県委託事業）
- 八戸水産高校応援プロジェクトフォーラム
 「八戸水産高校国際航海実習成果報告」
 開催日：令和6年2月26日(日)
 会 場：八戸プラザホテル
 発表者：八戸水産高校 生徒・教諭
 主 催：八戸学院地域連携研究センター
- 令和5年度八戸学院教育・研究・社会貢献後援会講演会
 開催日：令和6年2月26日(日)
 会 場：八戸プラザホテル
 講 師：西村 氏（株式会社ごっつり 代表取締役、

八戸特派大使)

演 題：「無知のアドバンテージ」

主 催：八戸学院教育・研究・社会貢献後援会

○講座名：アントレプレナーシップセミナー

「Entrepreneurial Activities」

開催日：令和6年3月3日(日)

会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ

講 師：川守田 景子 (八戸学院地域連携研究センター
講師)

主 催：八戸学院地域連携研究センター

・ 庶務日誌摘録

第1回 令和5年4月25日(火)

第2回 令和5年5月23日(火)

第3回 令和5年6月27日(火)

第4回 令和5年7月25日(火)

第5回 令和5年10月24日(火)

令和5年度採用教員紹介

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科

遠藤 光男 (えんどう みつお)

1955年生、福島県いわき市出身、東北大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士(文学)。専門分野は認知心理学。1986年から光星学院八戸短期大学に専任講師、助教授、教授として13年半勤務。その後琉球大学人文社会学部教授として勤務し、2021年定年退職。担当科目は、「認知心理学」、「老人障害者の心理」、「心理学基礎実験」、「心理学実習」等。主な業績として、「顔の部品検出に及ぼす全体情報の効果」、「顔認識過程の特性に関する心理学的研究：熟達性の観点から捉えた顔検出過程」、「Perception of upside-down faces: An analysis from the viewpoint of cue saliency」、「Towards an exemplar model of face processing: The effects of race and distinctiveness」、「顔、および、ヒトの検出過程の研究」等。所属学会は、日本心理学会、東北心理学会、九州心理学会等。

石原 良明 (いしはら よしあき)

1981年生まれ、東京都小平市出身。上智大学大学院神学研究科組織神学専攻博士後期課程満期退学(神学修士、また教皇庁立神学部として授与する神学教授資格STL取得)。上智大学新カトリック大事典編纂委員会編集実務委員、上智大学神学部非常勤講師(キリスト教人間学担当)などを経て、2023年度より本学健康医療学部人間健康学科准教授。宗教学、キリスト教概論などを担当。専攻は旧約聖書神学。物語分析による旧約聖書の新たな解釈を試みる。主な業績として「民数記の構成論：年代指標による『荒れ野の旅』試論」(日本カトリック神学会編『日本カトリック神学会誌』31号、2020年)や、翻訳書にJ.L. スカ『聖書の物語論的読み方：新たな解釈へのアプローチ』(共訳、日本基督教団出版局2013年)など。カトリック小中学生向け週刊誌『こじか』にて「サブカルの中の福音」連載。日本聖書学研究所、日本カトリック神学会、日本旧約学会、日本カトリック教育学会に所属。

立石 真司 (たていし しんじ)

1974年生まれ、北海道函館市出身。岩手県立大学大学院社

会福祉研究科博士前期課程修了。現在、同大学院博士後期課程在籍中。専門分野は社会福祉学。障害者福祉分野のソーシャルワーカーとして約20年間従事し、2023年4月より現職。その他に岩手県障がい福祉研修アドバイザー、盛岡医療福祉スポーツ専門学校非常勤講師等を務める。認定社会福祉士(障害分野)、精神保健福祉士の国家資格を有する。主な担当科目は「ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ・Ⅳ」「ソーシャルワーク演習Ⅲ」「福祉サービスの組織と経営」等の社会福祉士プログラムの科目。主な論文は、「相談支援専門員が行う意思決定支援のあり方に関する一考察－インタビューに基づいた質的研究－」「知的障害者の地域移行における相談支援従事者の意思決定支援プロセス」。所属学会は、日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本発達障害学会、日本社会福祉士会、日本保健科学学会。

平塚 和也 (ひらつか かずや)

1986年(昭和61年)生まれ、茨城県石岡市出身。国土舘大学大学院スポーツ・システム研究科スポーツ・システム専攻修士課程修了。国土舘大学体育学部の助手(任期付き)、国土舘大学大学院スポーツ・システム研究科の研究助手(任期付き)、立命舘大学共通教育推進機構の講師(任期付き)として勤務し、2023年(令和5年)10月から現職。担当科目：「スポーツの科学」、「運動学(運動方法学も含む)」、「保健体育教育法A」、「保健体育教育法B」、「保健体育教育法C」、「保健体育教育法D」、「体育原理」、「スキー」。主な業績：「高周波温熱刺激が筋収縮特性と筋出力の疲労回復に及ぼす効果」、「TMGを用いた骨格筋の力学的特性と皮下脂肪厚との関係」等。所属学会：日本体育・スポーツ・健康学会、日本バイオメカニクス学会、ヨーロッパスポーツ科学学会、日本体力医学会、日本ゴルフ学会、日本トレーニング科学学会。

八戸学院大学 健康医療学部 看護学科

吉岡 幸子 (よしおか さちこ)

1953年生、東京都出身、東京女子医科大学大学院満期退学。精神科看護師、旧浦和市・東京都保健師を経て、保健師教育に従事。2023年より本学看護学科教授。担当科目は、公衆衛生看護学概論・公衆衛生看護管理論・公衆衛生看護支

援論Ⅰ・公衆衛生看護支援論Ⅱ・公衆衛生看護支援論Ⅰ・公衆衛生看護支援論Ⅱ・公衆衛生看護実習（支援実習・実習Ⅰ・Ⅱ）等。著書は「セルフ・ネグレクトの人への支援」「セルフ・ネグレクトのアセスメントとケア」「アクションと看護」「訪問看護お悩み相談室」等。研究活動は、アルコール関連問題に関する研究、セルフ・ネグレクトに関する研究等。社会的活動は、厚生労働省依存症関連委員、埼玉県アルコール健康障害対策推進計画委員、NPO法人埼玉ダルク理事、NPO法人ぶるすあるは副代表。学会活動は、日本高齢者虐待防止学会監事、日本アルコール関連問題学会編集委員、関東甲信越アルコール関連問題学会理事。

築場 理利子（やなば りりこ）

1963年生まれ、青森県八戸市出身。青森県立青森高等看護学院一科、弘前大学弘前医療技術短期大学部専攻科助産学専攻を卒業し、看護師・助産師免許取得。十和田市立中央病院に37年間勤務し、2023年3月定年退職。37年間の病院勤務では、医療安全管理者5年の他看護局長等勤務年数の約半分を看護管理に携わる。また、2009年に日本看護協会認定看護管理者を取得し、青森県看護協会認定看護管理者教育課程教育運営委員や認定看護管理者研修講師等青森県の看護管理者教育に携わる他、特定行為研修に関して日本看護協会認定看護師制度再構築に関する説明会シンポジスト、岩手県看護協会看護研修会講師、新潟県看護協会看護管理者研修会講師も担った。担当科目：統合看護・医療安全論・看護卒業研究。主業績：「COVID-19院内感染リスク低減のための看護配置人数算出の試み」2022年7月日本医療マネジメント学会学術論文。所属学会：日本看護管理学会、日本医療マネジメント学会、日本病院学会。

柴生田 英香（しばうた ひでか）

1974年生まれ、埼玉県東松山市出身。帝京科学大学大学院修士課程修了。2019年3月まで埼玉県比企郡川島町で保健師として20年間在籍し、母子保健、成人保健、精神保健、高齢者福祉（介護保険）、秘書室長などを経験。2023年4月より現職。担当科目は公衆衛生看護学（保健師養成課程）、基礎ゼミ・プレゼンテーション。主な業績は「小規模市町村保健師の事業化コンピテンシーと現任教育および職場組織風土との関連 -中・大規模市区町村との比較-」「市町村保健師の事業化・施策化能力に関する文献レビュー」、著書（共著）「セルフ・ネグレクトのアセスメントとケア ツールを活用したゴミ屋敷・支援拒否・8050問題への対応」など。所属学会は日本公衆衛生看護学会、日本地域看護学会、日本看護科学学会

小出 るみ子（こいで るみこ）

1969年生まれ。青森県八戸市出身。平成4年青森県立青森高等看護学院卒業。平成30年放送大学教養学部生活と福祉コース卒業。17年間八戸赤十字病院で消化器外科、泌尿器

科整形外科、循環器内科などの診療科で病棟看護師として勤務。2024年2月より本学健康医療学部看護学科助教。研究分野は「高齢者看護学」、研究テーマは「高齢者のセルフマネジメント」。科目担当は「基礎演習」「プレゼンテーション」「基礎看護学実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」「高齢者生活支援看護実習」。主な業績は「臨床実習における受け入れ体制改善への取り組み」、「わが国における2型糖尿病患者の自己効力感を高める患者教育に関する文献研究」。

日當 ひとみ（ひあたり ひとみ）

1990年生、青森県八戸市出身。八戸東高等学校卒業。八戸短期大学看護学科（現 八戸学院大学健康医療学部看護学科）卒業。弘前大学大学院保健学研究科博士前期課程修了（看護学修士）。八戸赤十字病院、八戸市地域包括支援センターサブセンター、在宅療養支援診療所において看護師として勤務し、2024年2月より現職。専門分野は在宅看護、退院支援。担当科目は「基礎演習」「プレゼンテーション」「基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「在宅看護援助論」「在宅看護学実習」。主な業績は「患者・家族に退院後のイメージ化を促進する退院支援に関する研究（2019）」、「患者・家族における退院後の療養生活のイメージ形成を目指した病棟看護師の実践内容（2021）」、「COVID-19の影響を受け実施した在宅看護学内実習の評価と今後の課題（2021）」。所属学会は日本看護研究学会、日本在宅看護学会。

箒 さと子（ほうき さとこ）

1996年生まれ、岩手県洋野町種市出身。八戸学院大学短期大学部看護学科卒業。スズキ病院附属助産学校卒業。2019年4月から八戸市立市民病院、周産期センターで助産師として4年間勤務。2023年4月より現職。担当科目は「母性看護学概論」「母性看護学援助論」「日常生活援助論」「母性看護学実習」「基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」。主な業績は、「産後うつ病に対する妊娠期からの予防的介入と効果に関する文献検討（2023年）」、「青森県の高校生・大学生のヤングケアラー実態と課題 -青森県調査報告書から-（2024年）」。所属協会は日本看護協会、青森県看護協会。所属学会は母性衛生学会。

樋口 日出子（ひぐち ひでこ）

1958年（昭和33年）1月1日生まれ。岩手大学人文社会科学部地域文化専攻修了、学術修士。名古屋保健衛生大学病院看護師、秋田鹿角市保健センター保健師、岩手県立大学看護学部准教授を勤め、2023年4月より現職。研究テーマは「在宅看護学実習における学生の学びの変化、精神障害者における障害受容に関する研究」、「在宅看護における終末期看護のあり方、終末期におけるスピリチュアルケアに関する研究」とし、専門分野は在宅看護学で、担当科目は在宅看護実習、在宅看護援助論、看護卒業研究。主な研究業績は「誰にでも参加できるSST（2016年）」、「看護師職能団体論文集における身体合併症看護についての文献レビュー（2021年）」。所属学会：日本看護科学学会、日

八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科

船山 哲郎 (ふなやま てつろう)

1992年生まれ。岩手県盛岡市出身。札幌市立大学大学院博士後期課程修了。博士(デザイン学)。秋田公立美術大学美術学部助手、情報科学芸術大学院大学産業文化研究センター研究員を経て、2023年9月より現職。日本建築学会会員、環境芸術学会会員。幼児保育学科における主な担当科目は「美術Ⅰ」「デザイン基礎」。建築デザインを学んだ背景を活かし、空間、映像、グラフィックなど、多様な分野を横断したデザイン業務を行う。また、現代美術家としても活動しており、インスタレーション作品とパフォーマンスの実践を続けながら、国内外の芸術祭に作品を出展している。参加した主な芸術祭として「ボンベツ芸術要塞(北海道)」「かみこあにプロジェクト(秋田県)」「KEAT(栃木県)」「UNMANNED-無人駅の芸術祭-(静岡県)」「Biennale Jatim X(インドネシア)」

今 清孝 (こん きよたか)

1961(昭和36)年生まれ。青森県青森市出身。東北福祉大学社会福祉学部卒業後、実家の保育園で保父(保育士)を6年、園長を18年間務め退職。その後東北福祉大学大学院総合福祉研究科社会福祉学専攻修士課程修了、修士(社会福祉学)。博士課程満期退学後、福島学院大学短期大学部に入職、保育者養成課程教員となる。その後福島学院大学福祉学部こども学科に異動。退職後、青森中央短期大学部幼児保育学科非常勤講師。担当科目：子ども家庭福祉、社会的養護Ⅱ、保育実習指導ⅠA、保育実習ⅠA、ゼミナール。研究テーマ：子ども家庭福祉、子育て支援。研究業績：「異年齢保育の実際」、「保育所保育指針は正確に理解されたか」、「保育所長に求められる専門性と能力」、「子育て支援による親の成長機会の開拓」、「地域性から見た「保育相談支援」の拡幅の必要性」。所属学会：日本家族療法学会、日本子ども学会、日本保育者養成教育学会、日本子ども家庭福祉学会。